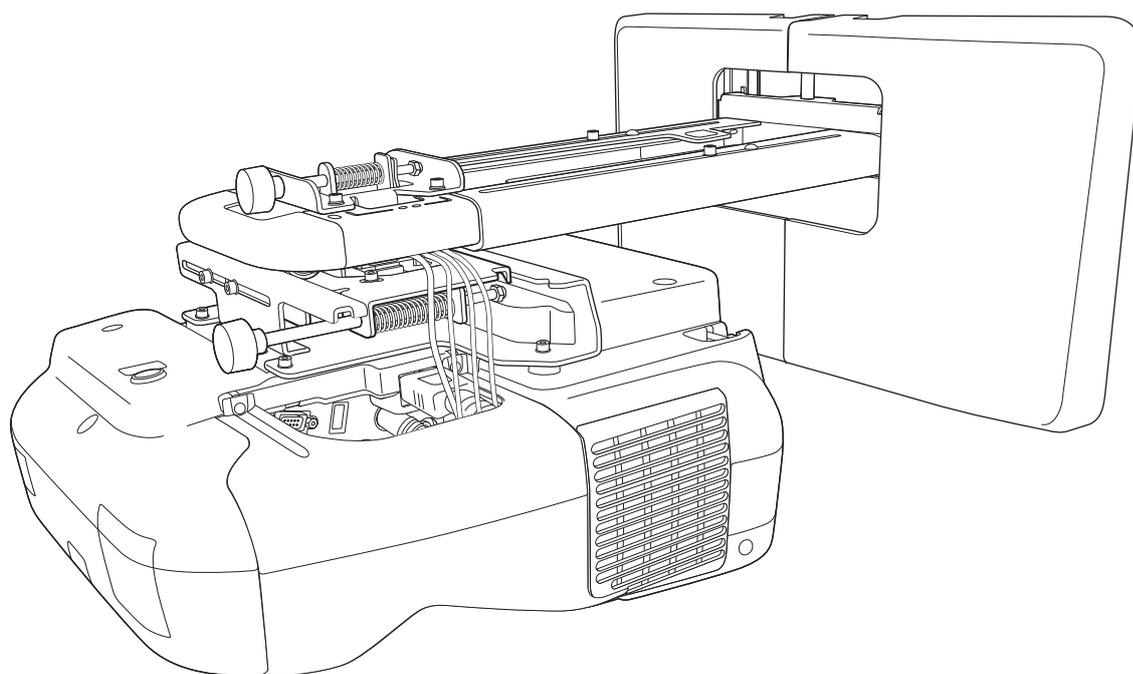


EB-1430WT
EB-1420WT

設置工事説明書



安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前には必ず本書をお読みください。本書の内容に反した取り扱いは故障や事故の原因となります。本書は、製品の不明点をいつでも解決できるように、手元に置いてお使いください。

プロジェクターの『取扱説明書』と『安全にお使いいただくために』をご確認いただき、取り扱いの注意事項をお守りください。

安全に関する表示

取扱説明書および本製品には、本製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。

その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

表示	意味
 警告	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

記号の意味

記号	意味
	行為を禁止する記号
	行為を指示する記号
	関連する情報や知っておくと便利な情報

設置上のご注意

 警告	
セッティングプレートはプロジェクターの壁掛け設置専用用品です。プロジェクター以外のものを取り付けるとその重さによっては破損することがあります。 本製品が壊れて落下すると、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。	
壁への取り付け（壁掛け設置）工事は、特別な技術が必要です。正しく工事が行われないと、落下によりけがや事故の原因となります。	
本製品は、本書の記載に沿って設置してください。 記載事項を守らないと、本製品が落下し、けがや事故の原因となります。	

 警告	
<p>電源コードの取り扱いには注意してください。</p> <p>取り扱いを誤ると、火災・感電の原因となります。取り扱いの際には、次の点を守ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない。 破損や加工した電源コードを使用しない。 電源コードをセッティングプレートに通すときは、強い力で引っ張らない。 	
<p>振動や衝撃が伝わる不安定な場所には設置しないでください。</p> <p>本製品や設置面が破損するおそれがあります。また、本製品が落下して人が死亡または重傷を負うおそれがあります。</p>	
<p>壁に取り付ける際は、プロジェクターとセッティングプレートの質量および横揺れにも十分耐えられるようにプレートを取り付けてください。ナット・ボルト等はM10を使用してください。</p> <p>M10より小さいと落下事故の原因となります。取り付けの強度不足等による落下事故につきましては、当社は一切責任を負いませんのでご了承ください。</p>	
<p>本製品は必ず二人以上の専門業者で設置してください。設置中にネジ類を緩めるときは、本製品が落下しないように取り扱いってください。</p> <p>本製品が落下して、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。</p>	
<p>本製品を壁に取り付けるときは、プロジェクター、セッティングプレート、コントロールパッド、タッチユニット（EB-1430WTのみ）を支えるために壁には十分な強度が必要です。</p> <p>本製品はコンクリートの壁に取り付けてください。プロジェクター、セッティングプレート、コントロールパッドの最大総重量は、約14kgです（ケーブル類含まず）。タッチユニット（EB-1430WTのみ）を取り付けると、最大総重量は約14.5kgになります（ケーブル類含まず）。本製品を壁に設置する前に、壁の強度を確保してください。強度不足のときは、十分に補強してから設置してください。</p>	
<p>定期的に、破損箇所やネジ類の緩みがないか点検してください。</p> <p>破損箇所があるときはすぐに使用を中止してください。本製品が落下して、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。</p>	
<p>本製品の分解・改造は絶対にしないでください。</p> <p>内部には電圧の高い部分が数多くあり、火災・感電・事故の原因となります。</p>	
<p>本製品にぶら下がらないでください。また、重い物をぶら下げないでください。</p> <p>本製品が壊れて落下すると、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。</p>	
<p>壁掛け設置やセッティングプレートの調整を行うときは、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。</p> <p>プロジェクターのスライドプレート固定部にネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などが付着するとケースが割れ、プロジェクターが落下して事故やけがの原因となります。</p>	
<p>調整後はすべてのネジを完全に締め直してください。</p> <p>十分に締めないと落下によりけがや事故の原因となります。</p>	
<p>設置後は、ボルト・ナットを絶対に緩めないでください。</p> <p>また、定期的にネジ類の緩みがないことを確認してください。万一、緩みがあるときは、確実に締め直してください。十分に締めないと落下によりけがや事故の原因となります。</p>	

 警告	
<p>ケーブルはネジやボルトを避けて配線してください。 ケーブルの取り扱いを誤ると、火災・感電の原因となります。</p>	
<p>プロジェクターの電源を入れるときは、絶対に投写窓をのぞかないでください。 強い光で目を痛めるなどの原因となります。小さなお子様のいる場所では特に注意してください。離れた場所からリモコンを使ってプロジェクターの電源を入れるときは、投写窓をのぞいている人がいないことを確認してから電源を入れてください。</p>	
<p>プロジェクターを使用するときは、プロジェクターの投写窓にものを置いたり、手を近づけたりしないでください。 投写光が集束するため高温になり危険です。</p>	
<p>プロジェクターの吸気口・排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。 暖房器具の付近など高温になる場所は避け、壁と排気口の間を20cm以上空けてください。</p>	
<p>可燃性ガスおよび爆発性ガスなどが大気中に存在するおそれのある場所で使用しないでください。 プロジェクター内部ではランプが高温になっているため、引火による火災の原因となります。</p>	
<p>本製品に異常が発生したときは、すぐに本製品に接続しているケーブルを抜いて、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターにご相談ください。 そのまま使用を続けると、火災・感電・視力障害の原因となります。</p>	

 注意	
<p>ご使用になるプロジェクター機種の使用温度範囲を超える場所には設置しないでください。 故障の原因となります。</p>	
<p>レンズや内部の光学部品に汚れが付着しないように、ホコリや湿気の少ないところに設置してください。</p>	
<p>本製品を調整するときは無理な力を加えないでください。 本製品が壊れてけがの原因となることがあります。</p>	

タッチユニットに関するご注意 (EB-1430WTのみ)

 警告	
<p>タッチユニットの分解・改造は絶対にしないでください。 タッチユニットの内部には高出力のレーザー製品が組み込まれており、火災・感電・事故の原因となります。</p>	
<p>タッチユニットの設置・操作は、本書に記載してある手順で行ってください。 誤った手順で設置・操作を行うと、レーザー光で目を痛めるなどの原因となることがあります。</p>	

 警告	
<p>タッチユニットから照射されるレーザー光に対して、ルーペ、反射鏡などの光学機器を当てないでください。</p> <p>そのまま使用し続けると、人体に悪影響を及ぼす可能性があります。また、火災・事故の原因となることがあります。</p>	
<p>タッチユニットのレーザー照射口を絶対にのぞかないでください。</p> <p>強いレーザー光で目を痛めるなどの原因となります。小さなお子様のいる場所では特に注意してください。</p>	
<p>タッチユニットのレーザー照射口から70mm以内の距離で、ルーペなどの光学機器を用いてレーザー光を見ないでください。</p> <p>眼に障害が生じる可能性があります。</p>	
<p>タッチユニットをEB-1430WT以外のプロジェクターや他の機器に接続しないでください。</p> <p>機器の故障や制限以上のレーザー光が放出される可能性があります。</p>	
<p>心臓ペースメーカー等の医療機器を装着している方は、タッチユニットに近づかないでください。また、タッチユニットを取り扱うときは、近くに心臓ペースメーカー等の医療機器を装着している方がいないことを確認してください。</p> <p>マグネットの磁力が強力なため電磁妨害が生じ、医療機器が誤動作する可能性があります。</p>	
 注意	
<p>磁気カードなどの磁気記憶媒体や、コンピューター、電子腕時計、携帯電話などの精密電子機器をタッチユニットに近づけないでください。</p> <p>マグネットの磁力が強力なためデータの破損や故障の原因となる可能性があります。</p>	

本書について

本書では、オプションのセッティングプレート（ELPMB43）を使って、短焦点プロジェクター EB-1430WT/EB-1420WTを壁掛け設置するための手順を説明しています。また、プロジェクターに同梱のコントロールパッドとタッチユニット（EB-1430WTのみ）を設置するための手順を説明しています。

■ 設置場所について

プロジェクターの設置場所

- セッティングプレートを設置する場所に、あらかじめ電源工事を済ませておいてください。
- プロジェクターを設置する場所は、蛍光灯・エアコンなど他の電気製品から離してください。蛍光灯の種類によっては、プロジェクターを操作するリモコンが誤動作することがあります。
- 外部ノイズの影響を少なくするために、パソコン等と接続するケーブルは20m以下になるようにプロジェクターを配置することをお勧めします。
- 貼付型スクリーン、またはボード型スクリーンの使用をお勧めします。
- 以下の条件を満たすように設置してください。
 - 投写する画面がゆがみのない長方形である。
 - プロジェクターの傾きが、スクリーンに対してタテ・ヨコ±3°以内である。
- インタラクティブ機能（Easy Interactive Function）を使用するときは、手の届く範囲に投写されるように設置してください。
- 太陽光が直接当たる場所には、プロジェクターやスクリーンを設置しないでください。太陽光がプロジェクターやスクリーンに直接当たると、インタラクティブ機能が正しく動作しないことがあります。

コントロールパッドの設置場所

電池を使ってコントロールパッドに電源を供給するときは、設置場所が以下の条件を満たしていることを確認してください。

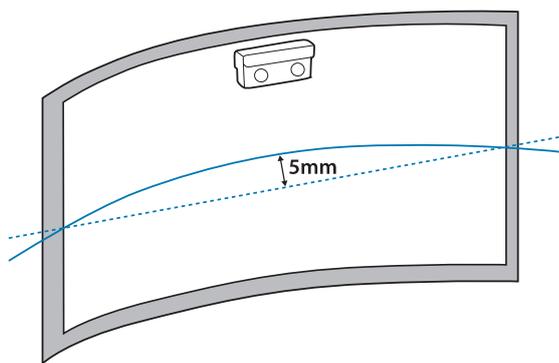
- プロジェクター投写面と同一面に設置する。
プロジェクター投写面とコントロールパッド設置面との間に段差があるときは、スクリーンの端からコントロールパッドを20cm程度離して設置する。
- コントロールパッドとプロジェクターの間に障害物を入れない（タッチユニットを除く）。

以下の場合、オプションのワイヤードリモコンケーブル（ELPKC28）を使ってプロジェクターから電源を供給します。

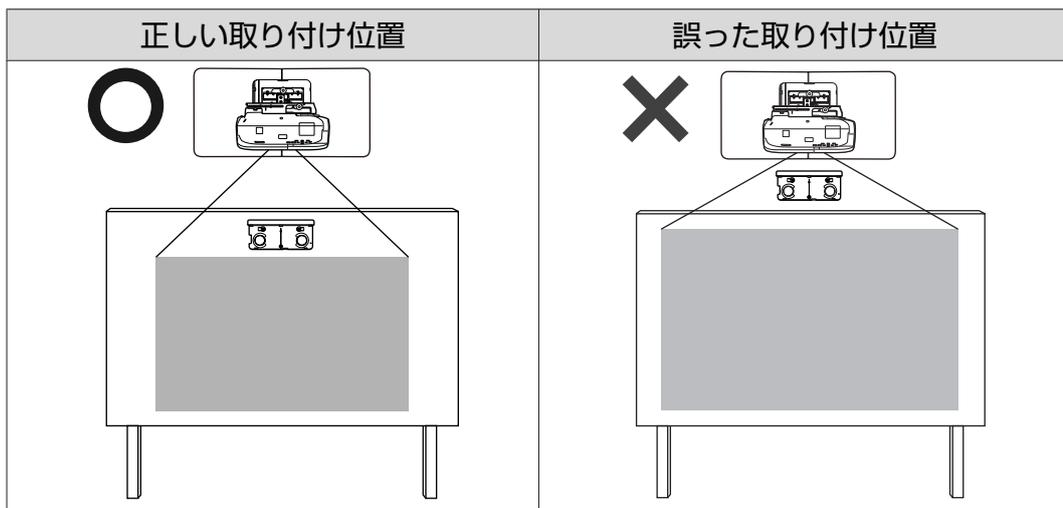
- 上記の条件を満たしていない。
- プロジェクター投写面とコントロールパッド設置面の段差が5cm以上ある。
- プロジェクターを机の上に設置してスクリーンに投写する。
- 複数台のプロジェクターを並べて使用する。

タッチユニットの設置場所（EB-1430WTのみ）

- タッチユニットを使用するときは、次のいずれかの方法でプロジェクターを設置してください。他の方法で設置すると、タッチユニットは使用できません。
 - 壁掛けまたは天吊りして、スクリーンの正面から投写する。
 - 机の上に縦置き設置して、机の正面から投写する。（縦置き設置するときは、オプション品のテーブル投写金具（ELPMB29）が必要です。）
- タッチユニットを設置する前に、設置場所が以下の条件を満たしていることを確認してください。
 - タッチユニットをマグネットまたはネジで固定できること。
 - そりやゆがみのない平らな面で、スクリーン表面の凹凸が5mm以下であること。

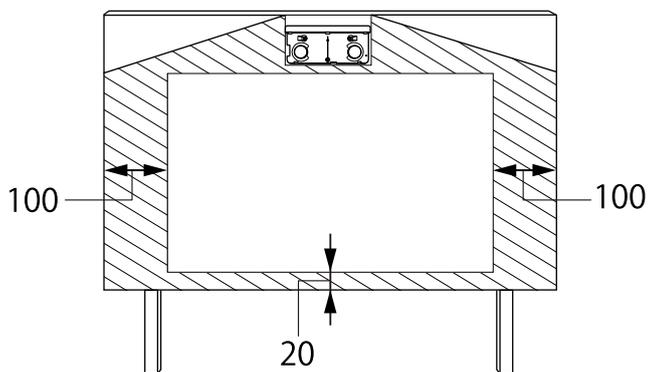


- ホワイトボードに設置するときは、ホワイトボード内にタッチユニットを設置してください。



- タッチユニットを設置するときは、下図の斜線部分にケーブル類などの障害物や、ホワイトボードのトレイ、ホルダー、厚みのあるフレームなどの突起物がないことを確認してください。タッチユニットが正しく動作しません。

[単位 : mm]



安全にお使いいただくために

安全上のご注意	1
安全に関する表示	1
記号の意味	1
設置上のご注意	1
タッチユニットに関するご注意 (EB-1430WTのみ)	3
本書について	4
設置場所について	5
プロジェクターの設置場所	5
コントロールパッドの設置場所	5
タッチユニットの設置場所 (EB-1430WT のみ)	5

設置工事説明書

設置の流れ	9
同梱品一覧	10
セッティングプレート	10
コントロールパッド	11
タッチユニット (EB-1430WTのみ)	11
仕様一覧	12
セッティングプレート	12
ウォールプレート	12
上下スライドの調整範囲	13
水平スライドの調整範囲	13
前後スライドの調整範囲	13
コントロールパッド	14
コントロールパッド (外観寸法/質量) ..	14
ケーブル配線穴	15
タッチユニット (EB-1430WTのみ)	15
タッチユニット (外観寸法/質量)	15
添付のラベルについて	16
レーザー照射口	16
投写距離表	17
取り付け寸法図	17
タッチユニットを取り付ける場合 (EB-1430WTのみ)	18
コントロールパッドを取り付けるとき ..	20
75型未満の画面を投写する場合	22

16:10 投写画面	23
16:9投写画面	24
4:3投写画面	25
75型以上の画面を投写する場合	26
16:10 投写画面	27
16:9 投写画面	28
4:3 投写画面	29
セッティングプレートの取り付け	30
機器との接続	30
必要なケーブル	30
取り付け手順	33
固定されている部品を外す	33
各部を組み立てる	33
ウォールプレートを壁に取り付ける	34
投写距離を決めてセッティングプレート にケーブル類を通す	36
セッティングプレートをウォールプレ ートに取り付ける	38
セッティングプレートにプロジェクター を固定する	40
投写画面の調整	43
投写位置の調整	43
フォーカスの微調整	48
ペン位置合わせ	49
カバー類の取り付け	53
コントロールパッドの取り付け	55
取り付け手順	55
タッチユニットの取り付け (EB-1430WTのみ)	59
取り付け手順	59
角度調整	64
指タッチ位置合わせ	75
付録	
一括設定機能	78
設定値をUSBメモリーに保存する	78
保存した設定値を他のプロジェクターに反 映する	80
設定がうまくいかないときは	82
本機を複数台設置してインタラクティ ブ機能をお使いの場合	83

セキュリティーケーブルの取り付け ..	84
商標について	85

設置の流れ

プロジェクターを壁掛け設置するときは、以下の手順で行います。

- 1 セッティングプレートとプロジェクターの取り付け (☞ [p.30](#))
- 2 投写画面の調整 (☞ [p.43](#))
- 3 Easy Interactive Penの位置合わせ (☞ [p.49](#))
- 4 コントロールパッドの取り付け (☞ [p.55](#))

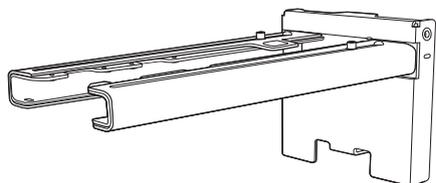
タッチユニットを設置するときは、プロジェクターの設置がすべて終わってから以下の手順で行います (EB-1430WTのみ)。

- 1 タッチユニットの取り付け (☞ [p.59](#))
- 2 レーザー照射の角度調整 (☞ [p.64](#))
- 3 指タッチ位置合わせ (☞ [p.75](#))

同梱品一覧

セッティングプレート

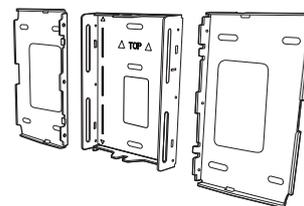
プロジェクターを壁掛け設置するときは、オプションのセッティングプレート (ELPMB43) の同梱品が必要です。以下の同梱品がすべて揃っていることをご確認ください。



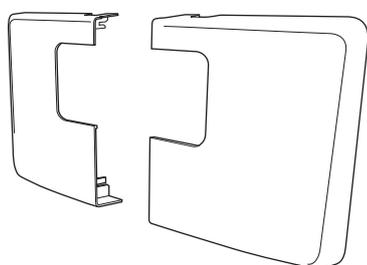
セッティングプレート



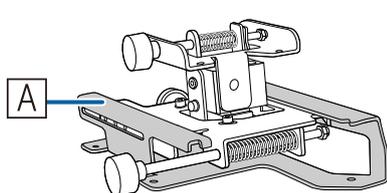
六角軸



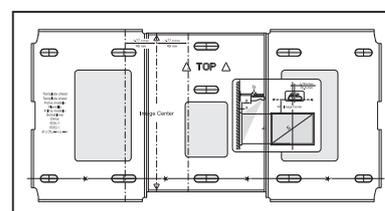
ウォールプレート



ウォールプレートカバー



3軸調整ユニット
※出荷時はスライドプレート (A) が固定されています。



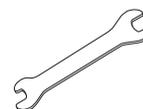
テンプレートシート
(ウォールプレート取り付け用)



エンドキャップ



六角レンチ (M4 用)



両口スパナ
呼び13 (M8、M6 用)、
呼び6 (六角軸用)

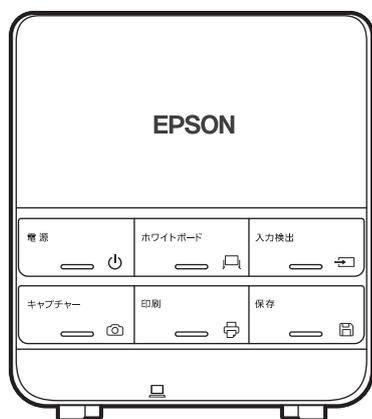
形状	名称	員数	用途
	M4 x 12mm 六角穴付きボルト ワッシャー/スプリングワッシャーあり	6本	ウォールプレート組立用
		4本	3軸調整ユニット/アーム取り付け用
		4本	スライドプレート/プロジェクター本体取り付け用
		2本	スライドプレート/3軸調整ユニット取り付け用 (出荷時に取り付け済み)
	M6 x 20mm 六角段付きボルト ワッシャー/スプリングワッシャーあり	1本	セッティングプレート/ウォールプレート取り付け用
	M6 x 20mm 十字穴付き段付きネジ プラスチックワッシャーあり	3本	

- 金具の取り付けは、必ず本製品に同梱のボルトまたはネジを使用してください。
- ウォールプレートを壁に取り付ける際は、市販のM10 x 60mmアンカーボルト (3本以上) を使用してください。

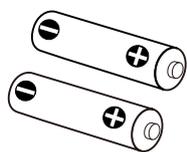
- 工具は必要に応じてご用意ください。

コントロールパッド

コントロールパッドを取り付けるときは、以下の同梱品が必要です。すべて揃っていることをご確認ください。



コントロールパッド本体



単3形電池（2本）



ゴムフット

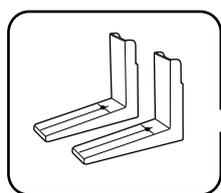


端子保護シール

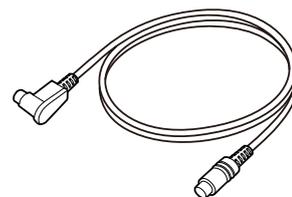
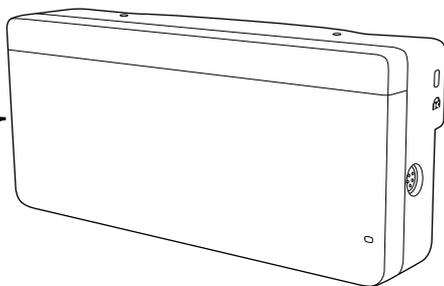
壁などにコントロールパッドを取り付けるときは、市販のM4ネジ（20mm×4本）をご用意ください。

タッチユニット (EB-1430WTのみ)

タッチユニットを取り付けるときは、以下の同梱品が必要です。すべて揃っていることをご確認ください。



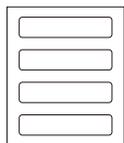
タッチユニット本体/マーカ2個（本体に付属）



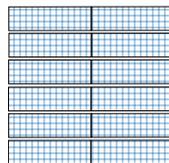
タッチユニット接続ケーブル（約2.8m）



ネジ止め用スペーサ
— 3個



目印ラベル4枚



マーカ固定用テープ
（約6cm）12枚



赤外線ディフレクター
（約28.5cm）8本

マグネットを使えない設置面にタッチユニットを取り付けるときは、市販のM4ネジ（3本）をご用意ください。

仕様一覧

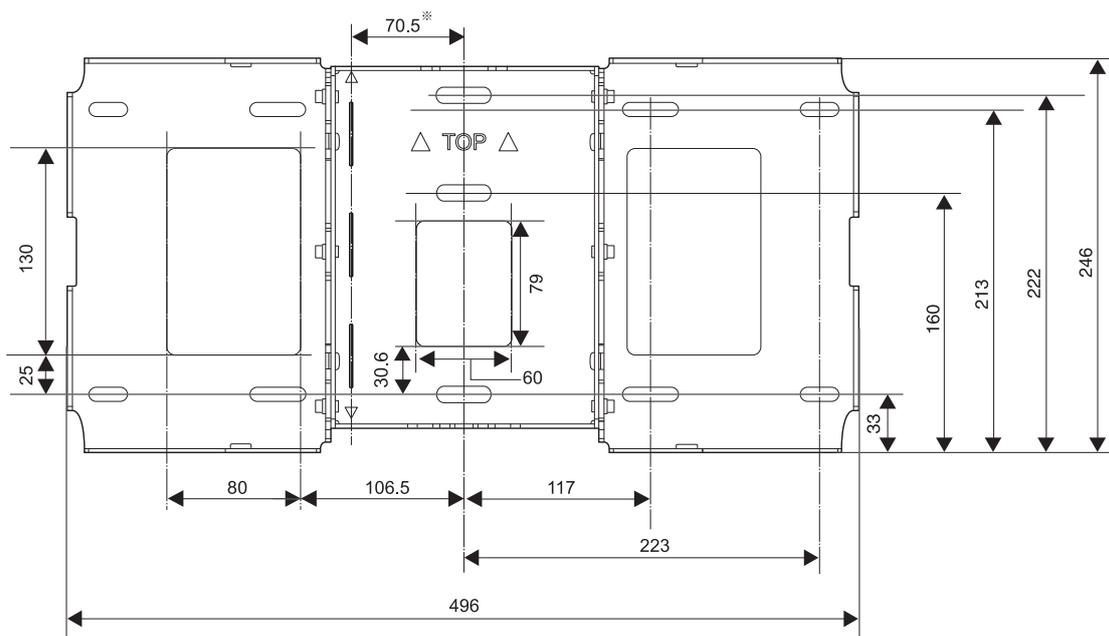
セッティングプレート

項目	仕様	備考	参照ページ
セッティングプレート質量	約8.1kg	セッティングプレート (3.0kg)、3軸調整ユニット (1.2kg)、スライドプレート (0.8kg)、ウォールプレート (2.7kg)、ウォールプレートカバー・エンドキャップ (0.4kg)	
最大荷重	7kg		
前後スライド調整範囲	0~360mm	アームスライド調整範囲: 0~273mm 3軸調整ユニットの取り付け位置による調整: 87mm	下図参照
上下スライド調整範囲	±38mm		下図参照
水平ロール調整範囲	±3°	調整ダイヤルによる微調整が可能	☛ p.43
水平回転調整範囲	±8°	調整ダイヤルによる微調整が可能	☛ p.43
上下チルト調整範囲	±3°	調整ダイヤルによる微調整が可能	☛ p.43
水平スライド調整範囲	±45mm		下図参照

ウォールプレート

下図は3枚のウォールプレートを1枚につなぎ合わせた状態です（出荷時は別々です）。

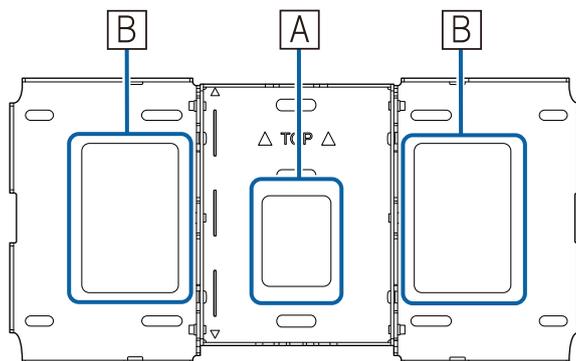
[単位：mm]



※ 投写する画面の中心位置とウォールプレートの中心位置のオフセット値

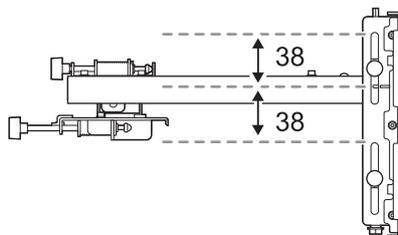
ケーブル配線穴

プロジェクターに接続するケーブルを壁の中に通すときは、下図の (A) と (B) の位置をケーブル配線穴として使用できます。



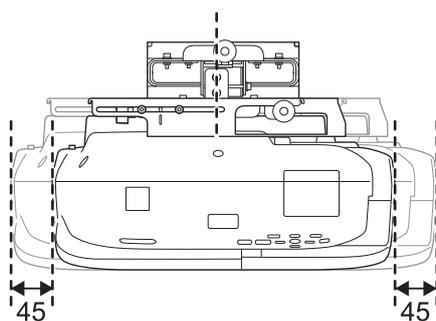
■ 上下スライドの調整範囲

[単位 : mm]



■ 水平スライドの調整範囲

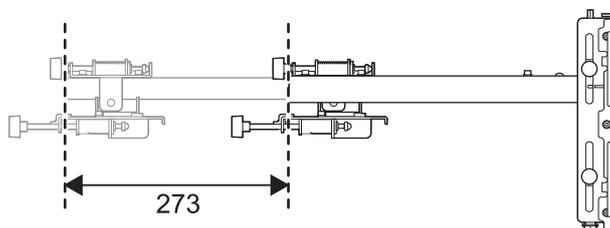
[単位 : mm]



■ 前後スライドの調整範囲

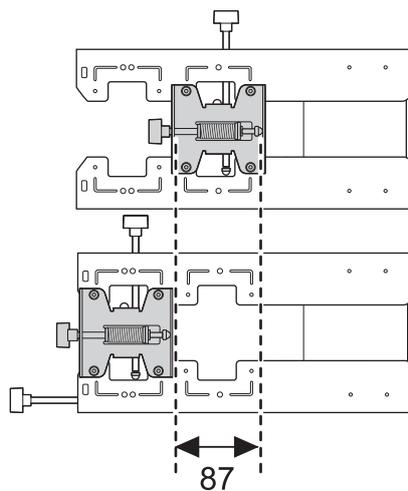
アームスライド調整範囲

[単位 : mm]



3軸調整ユニットの取り付け位置による調整範囲

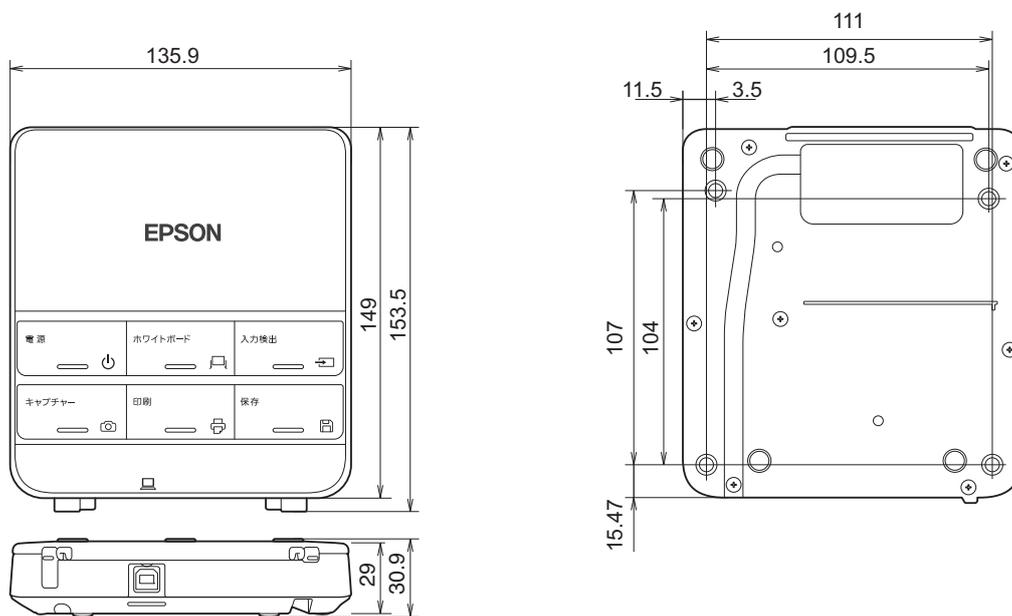
[単位：mm]



コントロールパッド

■ コントロールパッド (外観寸法/質量)

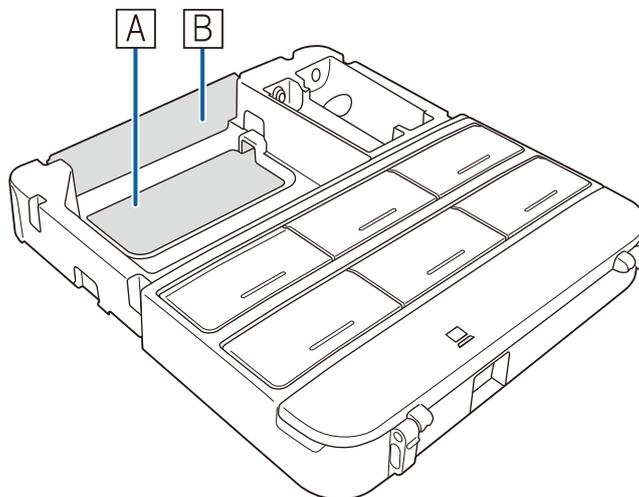
[単位：mm]



- 質量：約240g（電池、ゴムフットを除く）
- 動作温度範囲：0～+50℃（結露しないこと）
- 動作温度範囲：-20～+60℃（結露しないこと）

■ ケーブル配線穴

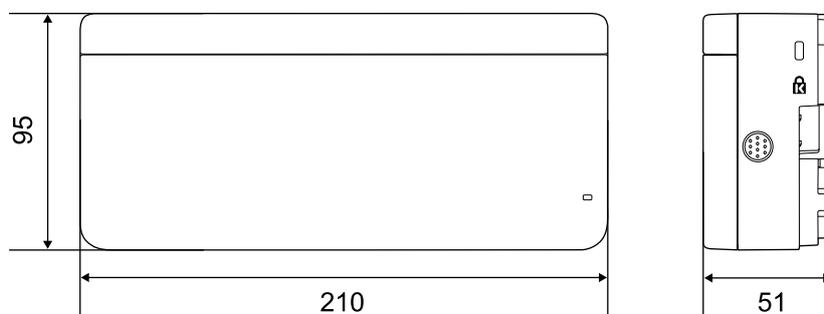
ケーブルを壁の中に通すときは、下図（**A**）の位置をケーブル配線穴として使用できます。それ以外のときは、ケーブルカバー（**B**）を外して、そこからケーブルを引き出します。プリンターケーブルは、コントロールパッド裏面にある溝の中を通すことができます。



タッチユニット (EB-1430WTのみ)

■ タッチユニット (外観寸法/質量)

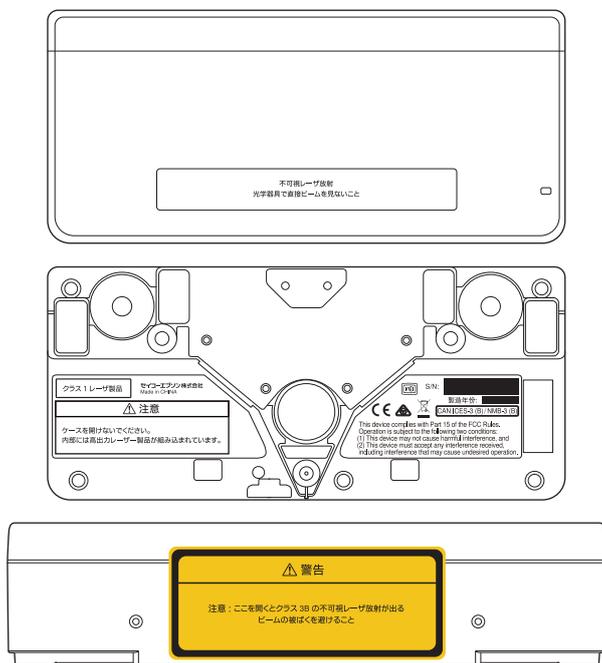
[単位：mm]



タッチユニットの質量は450gです。

■ 添付のラベルについて

タッチユニットは、JIS C 6802:2011に適合したクラス1レーザー製品です。タッチユニットには、クラス1レーザー製品であることと、警告を示すラベルが貼られています。

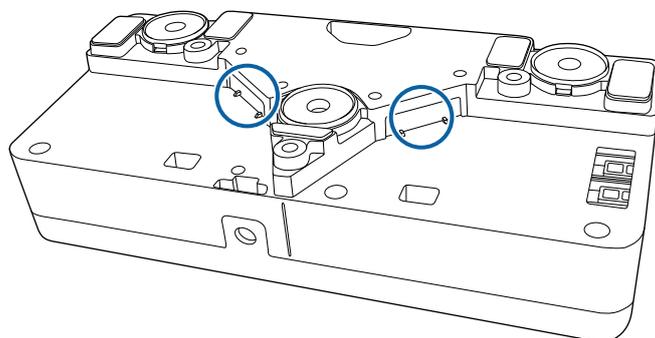


ラベルの内容は次のとおりです。

- クラス1レーザー製品
- 警告：ケースを開けないでください。内部には高出力レーザー製品が組み込まれています。
- 警告：
 - 注意：ここを開くとクラス3Bの不可視レーザー放射が出る
 - ビームの被ばくを避けること

■ レーザー照射口

レーザー光は、タッチユニットの背面にあるレーザー照射口から照射されます。



投写距離表

取り付け寸法図

下図を参考にして、映像が最適な大きさとスクリーンに映るように設置してください。値は目安です。
投写する距離 (a) の推奨範囲は、62~311mmです。

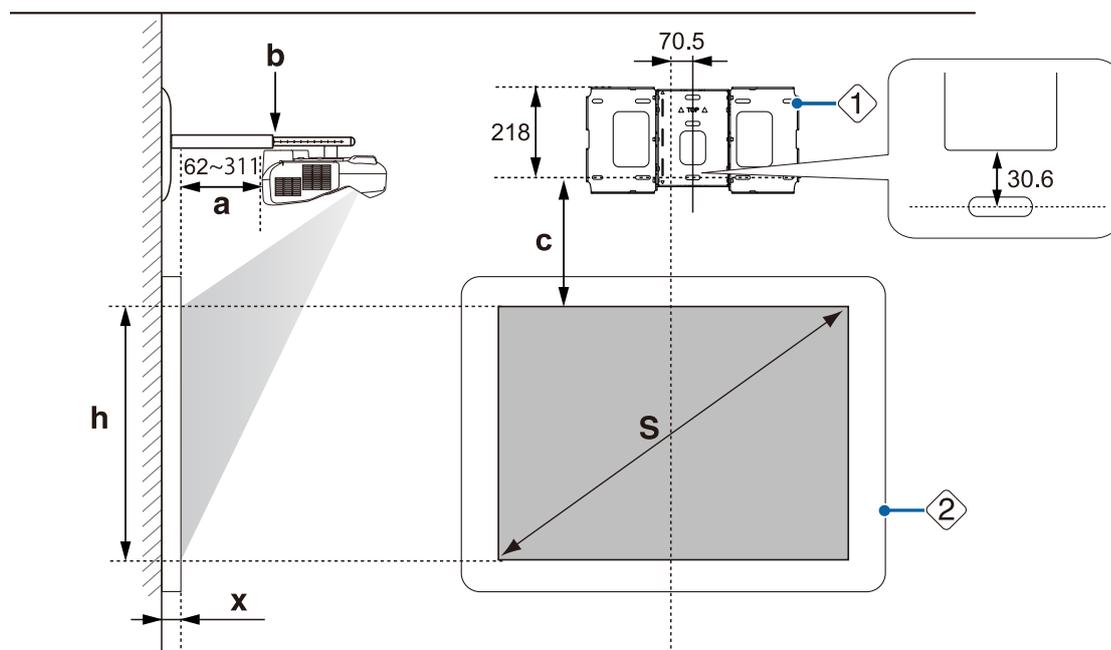
投写する画面の中心位置とウォールプレートの中心位置のオフセット値は70.5mmです。

ウォールプレート中央にあるケーブル配線穴の下端は、投写する画面とウォールプレートの距離 (c) +30.6mmになります。

投写する画面サイズ (S) が75型以上の場合、アームスライドの目盛り (b) は投写距離 (a) と等しくなります。

投写する画面サイズ (S) が75型未満の場合は等しくなりません。

[単位 : mm]



- | | |
|--|--------------|
| S : 投写する画面サイズ | ① : ウォールプレート |
| a : 投写距離最短 (ワイド : ズーム最大)
~ 最長 (テレ : ズーム最小) | ② : スクリーン |
| b : アームスライドの目盛りの数値 | |
| c : 投写する画面とウォールプレートの距離 | |
| h : 投写する画面の高さ | |
| x : スクリーン表面から壁までの距離
(100mm以内) | |

■ タッチユニットを取り付ける場合 (EB-1430WTのみ)

タッチユニットを取り付けるときは、投写する画面と同じスクリーン内に取り付けてください。
 投写する画面の上端からスクリーンの上端までは120mm以上の間隔が必要です。

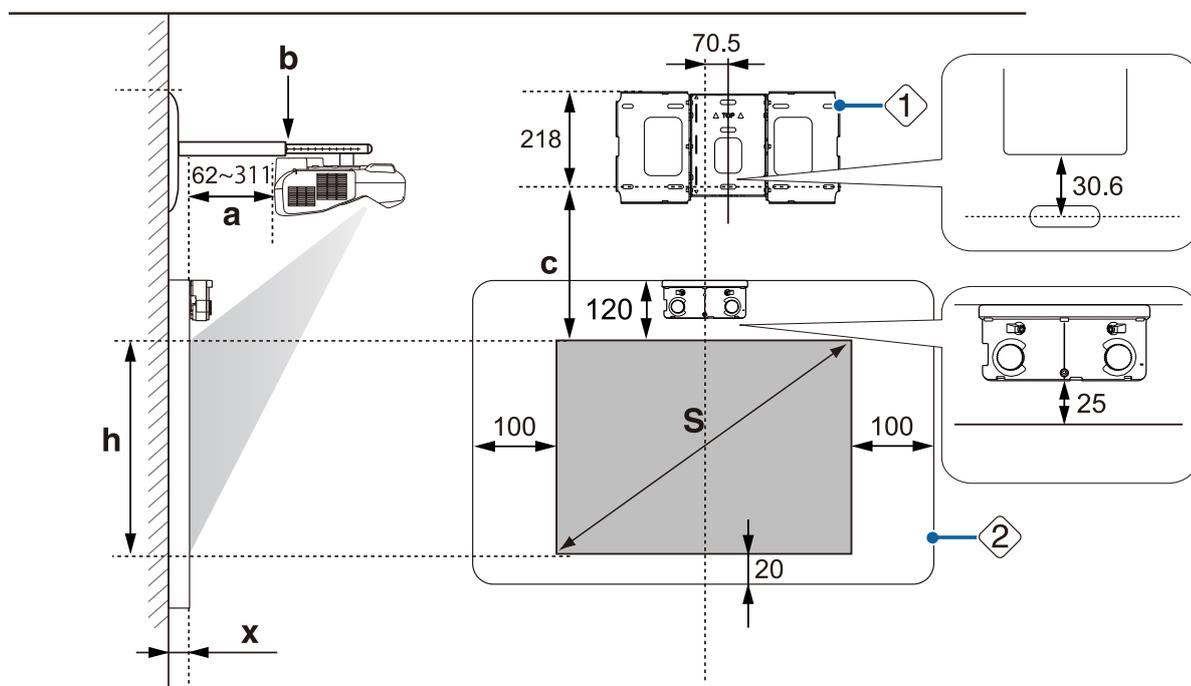
⚠ 注意

投写する画面の周りは、それぞれ以下のとおり間隔をあけてください。

- 投写する画面の上端からタッチユニットの下端まで：25mm
- 投写する画面の両端からスクリーンの両端まで：左右それぞれ100mm以上
- 投写する画面の下端からスクリーンの下端まで：20mm以上

上記の範囲内にケーブル類などの障害物や、ホワイトボードのトレイ、ホルダー、フレームなどの突起物があると、タッチユニットが正しく動作しません。

[単位：mm]



S : 投写する画面サイズ

① : ウォールプレート

a : 投写距離最短 (ワイド：ズーム最大)
 ~最長 (テレ：ズーム最小)

② : スクリーン

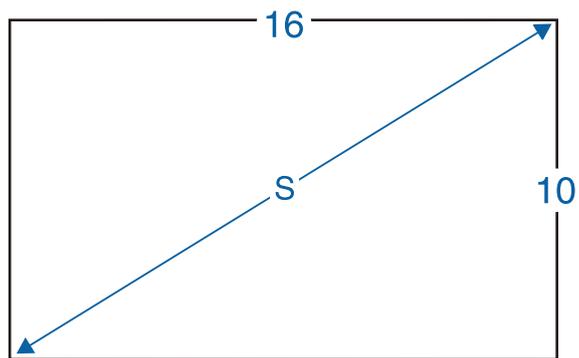
b : アームスライドの目盛りの数値

c : 投写する画面とウォールプレートの距離

h : 投写する画面の高さ

x : スクリーン表面から壁までの距離
 (100mm以内)

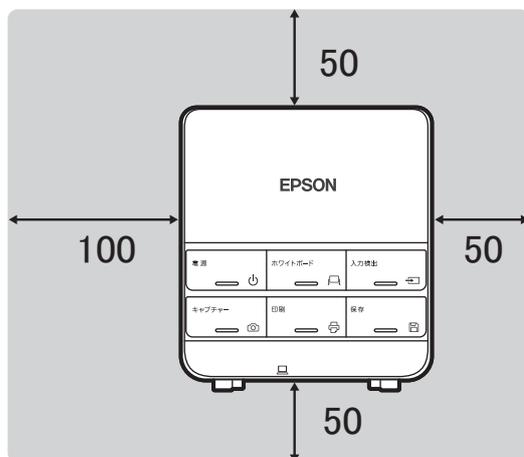
標準投写画面の縦横比



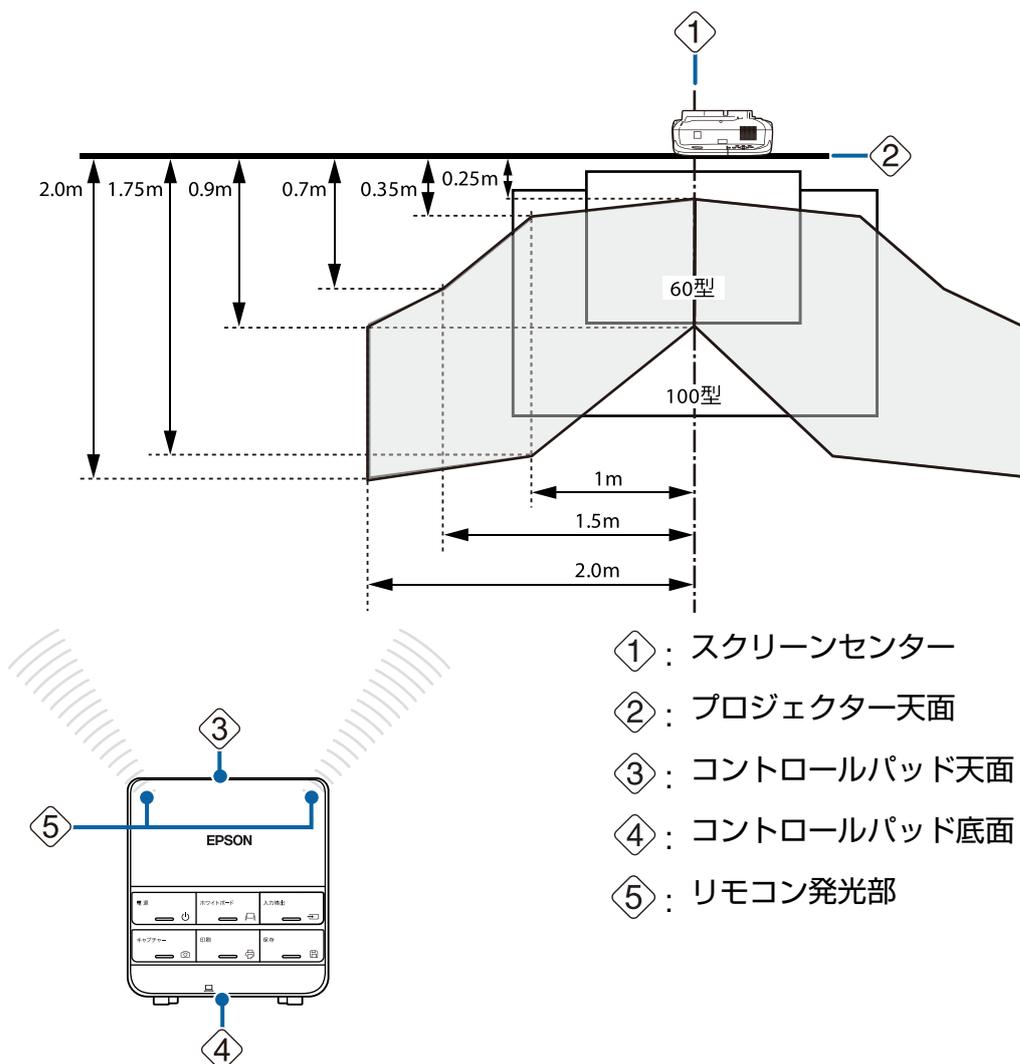
■ コントロールパッドを取り付けるとき

コントロールパッドを取り付けるときは、下図のように周囲にスペースを確保してください。上部カバーは左側から開閉するため、コントロールパッドの左側に手を入れられるスペースが必要です。

[単位：mm]



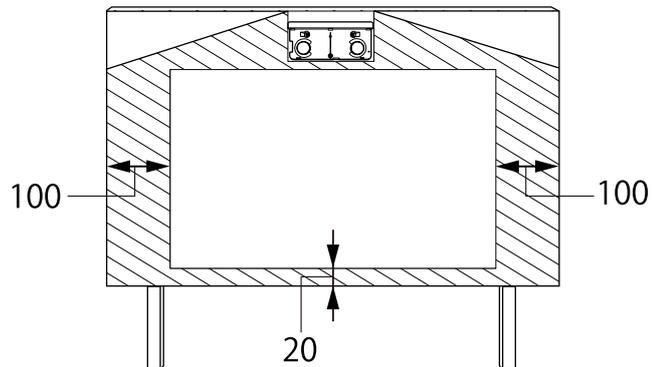
電源の供給を電池で行うときは、下図で示す網かけの範囲内にコントロールパッドを設置してください。



プロジェクター天面とコントロールパッド天面を平行にして、コントロールパッドのリモコン発光部がプロジェクター側を向くようにします。

 タッチユニットを設置するときは、投写画面上とその周囲（下図の斜線部分）にコントロールパッドを設置しないでください（EB-1430WTのみ）。タッチユニットが正しく動作しません。

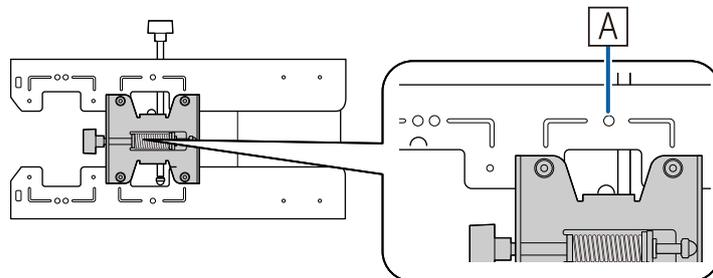
[単位：mm]



75型未満の画面を投写する場合

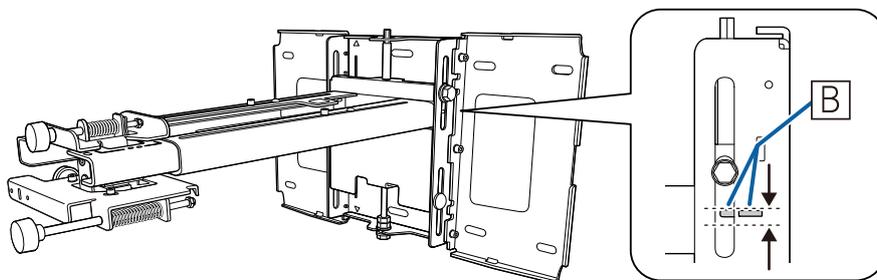
3軸調整ユニットを、○の箇所（**A**）に取り付けてください。

投写距離表は、3軸調整ユニットを○の箇所（**A**）に取り付けた場合の数値です。投写距離（a）とアームスライドの目盛りの数値（b）は異なります。



投写する画面とウォールプレートの距離（c）は、上下スライドを基準位置（**B**）に合わせた場合の数値です。

セッティングプレートの切り欠きとウォールプレートの刻印の位置を合わせます。



■ 16:10 投写画面

[単位 : cm]

S 投写する画面サイズ		a 投写距離 最短（ワイド）～最長（テレ）	b アームスライド の目盛りの数値	c 投写する画面と ウォールプレート の距離	h 投写する画面の 高さ
60型	129.2x80.8	6.2～19.3	14.9～28.0	17.4	80.8
61型	131.4x82.1	6.9～20.1	15.6～28.8	17.7	82.1
62型	133.5x83.5	7.5～20.9	16.2～29.6	17.9	83.5
63型	135.7x84.8	8.1～21.8	16.8～30.5	18.2	84.8
64型	137.9x86.2	8.7～22.6	17.4～31.3	18.5	86.2
65型	140.0x87.5	9.3～23.5	18.0～32.2	18.7	87.5
66型	142.2x88.8	10.0～24.3	18.7～33.0	19.0	88.8
67型	144.3x90.2	10.6～25.1	19.3～33.8	19.3	90.2
68型	146.5x91.5	11.2～26.0	19.9～34.7	19.5	91.5
69型	148.6x92.9	11.8～26.8	20.5～35.5	19.8	92.9
70型	150.8x94.2	12.4～27.6	21.1～36.3	20.1	94.2
71型	152.9x95.6	13.1～28.5	21.8～37.2	20.3	95.6
72型	155.1x96.9	13.7～29.3	22.4～38.0	20.6	96.9
73型	157.2x98.3	14.3～30.2	23.0～38.9	20.9	98.3
74型	159.4x99.6	14.9～31.0	23.6～39.7	21.1	99.6

60型より小さい画面は正しく投写されません。

■ 16 : 9投写画面

[単位 : cm]

S 投写する画面サイズ		a 投写距離 最短（ワイド）～最長（テレ）	b アームスライド の目盛りの数値	c 投写する画面と ウォールプレート の距離	h 投写する画面の 高さ
59型	130.6x73.5	6.6～19.8	15.3～28.5	21.7	73.5
60型	132.8x74.7	7.3～20.7	16.0～29.4	22.0	74.7
61型	135.0x76.0	7.9～21.5	16.6～30.2	22.3	76.0
62型	137.3x77.2	8.6～22.4	17.3～31.1	22.7	77.2
63型	139.5x78.5	9.2～23.3	17.9～32.0	23.0	78.5
64型	141.7x79.7	9.8～24.1	18.5～32.8	23.4	79.7
65型	143.9x80.9	10.5～25.0	19.2～33.7	23.7	80.9
66型	146.1x82.2	11.1～25.8	19.8～34.5	24.1	82.2
67型	148.3x83.4	11.7～26.7	20.4～35.4	24.4	83.4
68型	150.5x84.7	12.4～27.6	21.1～36.3	24.8	84.7
69型	152.8x85.9	13.0～28.4	21.7～37.1	25.1	85.9
70型	155.0x87.2	13.7～29.3	22.4～38.0	25.4	87.2
71型	157.2x88.4	14.3～30.1	23.0～38.8	25.8	88.4
72型	159.4x89.7	14.9～31.0	23.6～39.7	26.1	89.7
73型	161.6x90.9	15.6～31.1	24.3～39.8	26.5	90.9
74型	163.8x92.1	16.2～31.1	24.9～39.8	26.8	92.1

59型より小さい画面は正しく投写されません。

■ 4：3投写画面

[単位: cm]

S 投写する画面サイズ		a 投写距離 最短（ワイド）～最長（テレ）	b アームスライド の目盛りの数値	c 投写する画面と ウォールプレート の距離	h 投写する画面の 高さ
53型	107.7x80.8	6.2～19.3	14.9～28.0	17.4	80.8
54型	109.7x82.3	6.9～20.2	15.6～28.9	17.7	82.3
55型	111.8x83.8	7.6～21.2	16.3～29.9	18.0	83.8
56型	113.8x85.3	8.3～22.1	17.0～30.8	18.3	85.3
57型	115.8x86.9	9.1～23.1	17.8～31.8	18.6	86.9
58型	117.9x88.4	9.8～24.0	18.5～32.7	18.9	88.4
59型	119.9x89.9	10.5～25.0	19.2～33.7	19.2	89.9
60型	121.9x91.4	11.2～25.9	19.9～34.6	19.5	91.4
61型	124.0x93.0	11.9～26.9	20.6～35.6	19.8	93.0
62型	126.0x94.5	12.6～27.8	21.3～36.5	20.1	94.5
63型	128.0x96.0	13.3～28.8	22.0～37.5	20.4	96.0
64型	130.0x97.5	14.0～29.7	22.7～38.4	20.7	97.5
65型	132.1x99.1	14.7～30.7	23.4～39.4	21.0	99.1
66型	134.1x100.6	15.4～31.1	24.1～39.8	21.3	100.6
67型	136.1x102.1	16.1～31.1	24.8～39.8	21.6	102.1
68型	138.2x103.6	16.8～31.1	25.5～39.8	21.9	103.6
69型	140.2x105.2	17.5～31.1	26.2～39.8	22.2	105.2
70型	142.2x106.7	18.2～31.1	26.9～39.8	22.5	106.7
71型	144.3x108.2	18.9～31.1	27.6～39.8	22.8	108.2
72型	146.3x109.7	19.6～31.1	28.3～39.8	23.2	109.7
73型	148.3x111.3	20.3～31.1	29.0～39.8	23.5	111.3
74型	150.4x112.8	21.0～31.1	29.7～39.8	23.8	112.8

53型より小さい画面は正しく投写されません。

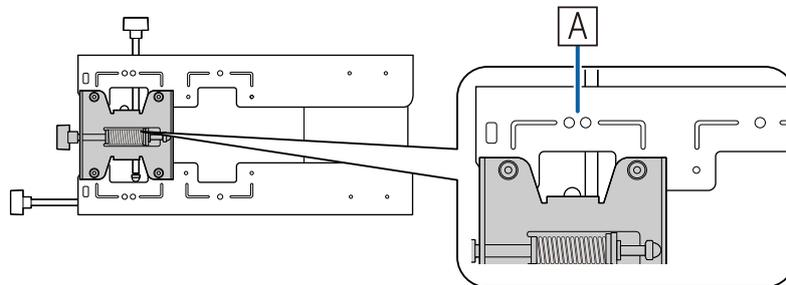


- 値は目安です。設置する場所の条件により、値に差異が生じることがあります。
- テレで投写すると、画質が劣化することがあります。
- 4:3 の映像を投写すると、リサイズにより画質が劣化することがあります。

75型以上の画面を投写する場合

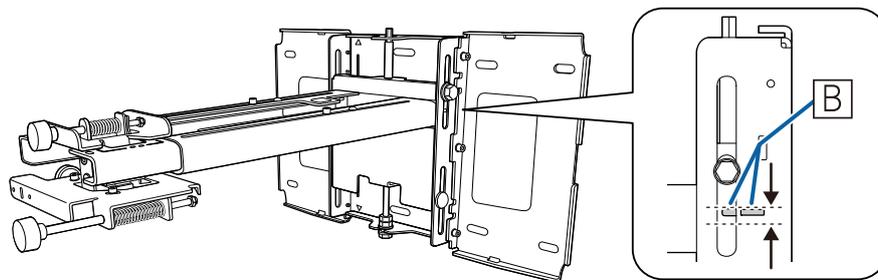
3軸調整ユニットを、○○の箇所（**A**）に取り付けてください。

投写距離表は、3軸調整ユニットを○○の箇所（**A**）に取り付けた場合の数値です。投写距離（a）とアームスライドの目盛りの数値（b）は同じ値になります。



投写する画面とウォールプレートの距離（c）は、上下スライドを基準位置（**B**）に合わせた場合の数値です。

セッティングプレートの切り欠きとウォールプレートの刻印の位置を合わせます。



■ 16:10 投写画面

[単位 : cm]

S 投写する画面サイズ		a 投写距離 最短（ワイド）～最長（テレ）	b アームスライド の目盛りの数値	c 投写する画面と ウォールプレート の距離	h 投写する画面の 高さ
75型	161.5x101.0	15.5～31.1		21.4	101.0
76型	163.7x102.3	16.2～31.1		21.7	102.3
77型	165.9x103.7	16.8～31.1		21.9	103.7
78型	168.0x105.0	17.4～31.1		22.2	105.0
79型	170.2x106.3	18.0～31.1		22.5	106.3
80型	172.3x107.7	18.7～31.1		22.7	107.7
81型	174.5x109.0	19.3～31.1		23.0	109.0
82型	176.6x110.4	19.9～31.1		23.3	110.4
83型	178.8x111.7	20.5～31.1		23.5	111.7
84型	180.9x113.1	21.1～31.1		23.8	113.1
85型	183.1x114.4	21.8～31.1		24.1	114.4
86型	185.2x115.8	22.4～31.1		24.3	115.8
87型	187.4x117.1	23.0～31.1		24.6	117.1
88型	189.5x118.5	23.6～31.1		24.9	118.5
89型	191.7x119.8	24.2～31.1		25.2	119.8
90型	193.9x121.2	24.9～31.1		25.4	121.2
91型	196.0x122.5	25.5～31.1		25.7	122.5
92型	198.2x123.9	26.1～31.1		26.0	123.9
93型	200.3x125.2	26.7～31.1		26.2	125.2
94型	202.5x126.5	27.3～31.1		26.5	126.5
95型	204.6x127.9	28.0～31.1		26.8	127.9
96型	206.8x129.2	28.6～31.1		27.0	129.2
97型	208.9x130.6	29.2～31.1		27.3	130.6
98型	211.1x131.9	29.8～31.1		27.6	131.9
99型	213.2x133.3	30.4～31.1		27.8	133.3
100型	215.4x134.6	31.1※		28.1	134.6

※ ワイド（ズーム最大）の数値です。

100 型より大きい画面は正しく投写されません。

■ 16 : 9 投写画面

[単位 : cm]

S 投写する画面サイズ		a 投写距離 最短（ワイド）～最長（テレ）	b アームスライド の目盛りの数値	c 投写する画面と ウォールプレート の距離	h 投写する画面の 高さ
75型	166.0x93.4	16.8～31.1		27.2	93.4
76型	168.2x94.6	17.5～31.1		27.5	94.6
77型	170.5x95.9	18.1～31.1		27.8	95.9
78型	172.7x97.1	18.8～31.1		28.2	97.1
79型	174.9x98.4	19.4～31.1		28.5	98.4
80型	177.1x99.6	20.0～31.1		28.9	99.6
81型	179.3x100.9	20.7～31.1		29.2	100.9
82型	181.5x102.1	21.3～31.1		29.6	102.1
83型	183.7x103.4	21.9～31.1		29.9	103.4
84型	186.0x104.6	22.6～31.1		30.3	104.6
85型	188.2x105.8	23.2～31.1		30.6	105.8
86型	190.4x107.1	23.9～31.1		30.9	107.1
87型	192.6x108.3	24.5～31.1		31.3	108.3
88型	194.8x109.6	25.1～31.1		31.6	109.6
89型	197.0x110.8	25.8～31.1		32.0	110.8
90型	199.2x112.1	26.4～31.1		32.3	112.1
91型	201.5x113.3	27.0～31.1		32.7	113.3
92型	203.7x114.6	27.7～31.1		33.0	114.6
93型	205.9x115.8	28.3～31.1		33.3	115.8
94型	208.1x117.1	29.0～31.1		33.7	117.1
95型	210.3x118.3	29.6～31.1		34.0	118.3
96型	212.5x119.5	30.2～31.1		34.4	119.5
97型	214.7x120.8	30.9～31.1		34.7	120.8

97型より大きい画面は正しく投写されません。

■ 4 : 3 投写画面

[単位 : cm]

S 投写する画面サイズ		a 投写距離 最短（ワイド）～最長（テレ）	b アームスライド の目盛りの数値	c 投写する画面と ウォールプレート の距離	h 投写する画面の 高さ
75型	152.4x114.3	21.7～31.1		24.1	114.3
76型	154.4x115.8	22.4～31.1		24.4	115.8
77型	156.5x117.3	23.1～31.1		24.7	117.3
78型	158.5x118.9	23.8～31.1		25.0	118.9
79型	160.5x120.4	24.5～31.1		25.3	120.4
80型	162.6x121.9	25.2～31.1		25.6	121.9
81型	164.6x123.4	25.9～31.1		25.9	123.4
82型	166.6x125.0	26.6～31.1		26.2	125.0
83型	168.7x126.5	27.3～31.1		26.5	126.5
84型	170.7x128.0	28.0～31.1		26.8	128.0
85型	172.7x129.5	28.7～31.1		27.1	129.5
86型	174.8x131.1	29.4～31.1		27.4	131.1
87型	176.8x132.6	30.1～31.1		27.7	132.6
88型	178.8x134.1	30.8～31.1		28.0	134.1

88型より大きい画面は正しく投写されません。



- 値は目安です。設置する場所の条件により、値に差異が生じることがあります。
- テレで投写すると、画質が劣化することがあります。
- 4:3 の映像を投写すると、リサイズにより画質が劣化することがあります。

■ セッティングプレートの取り付け

機器との接続

■ 必要なケーブル

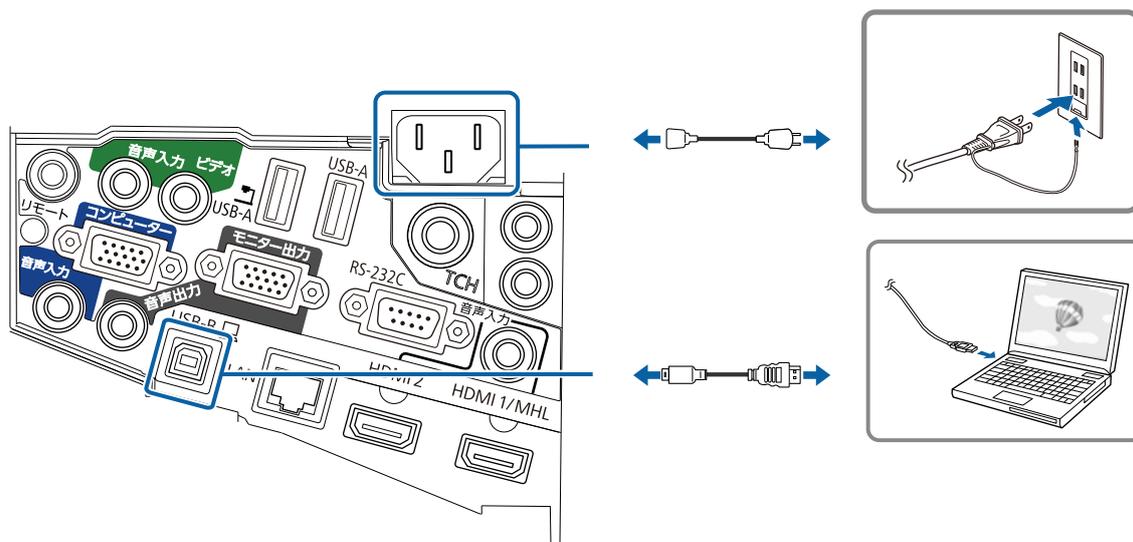
使用する機器に応じて必要なケーブルを用意します。

- 同梱の電源コード（必須）
- 同梱のUSBケーブル
- 同梱のタッチユニット接続ケーブル（EB-1430WTのみ）
- オプションのコンピューターケーブルやワイヤードリモコンケーブルなど、その他のケーブル（接続する機器に応じて用意する）

詳細は、プロジェクターの『取扱説明書』（Document CD-ROM内）をご覧ください。

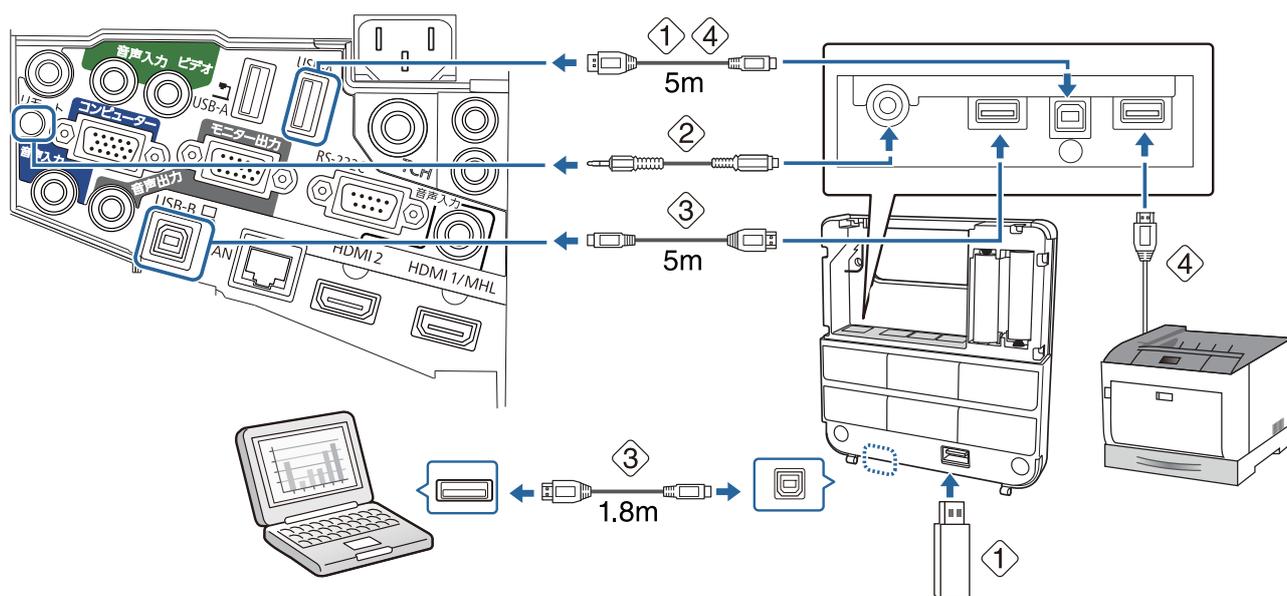
Easy Interactive Functionを使うときに必要なケーブル

Easy Interactive Functionを使ってマウス操作をするときは、電源コードとUSBケーブルが必要です。コンピューターケーブルを使って投写する場合も、マウス操作をするときはUSBケーブルが必要です。



コントロールパッドを取り付けるときに必要なケーブル

- USBストレージの画像を投写するときや、USB ストレージにデータを保存するときは、同梱のUSBケーブルが必要です (①)。
- プロジェクターから電源を給電するときは、オプションのワイヤードリモコンケーブル (ELPKC28) が必要です (②)。
- コンピューターの映像を投写したり (USBディスプレイ)、Easy Interactive Functionを使ってマウス操作をするときは、同梱のUSBケーブルが必要です (③)。
- 投写画面を印刷するときは、同梱のUSBケーブルが必要です。コントロールパッドとプリンターの接続は、プリンターに付属のUSBケーブルをお使いください (④)。



コントロールパッドに接続できるのはEPSON製の以下のプロジェクターです。プロジェクターの定格ラベルをご確認ください。

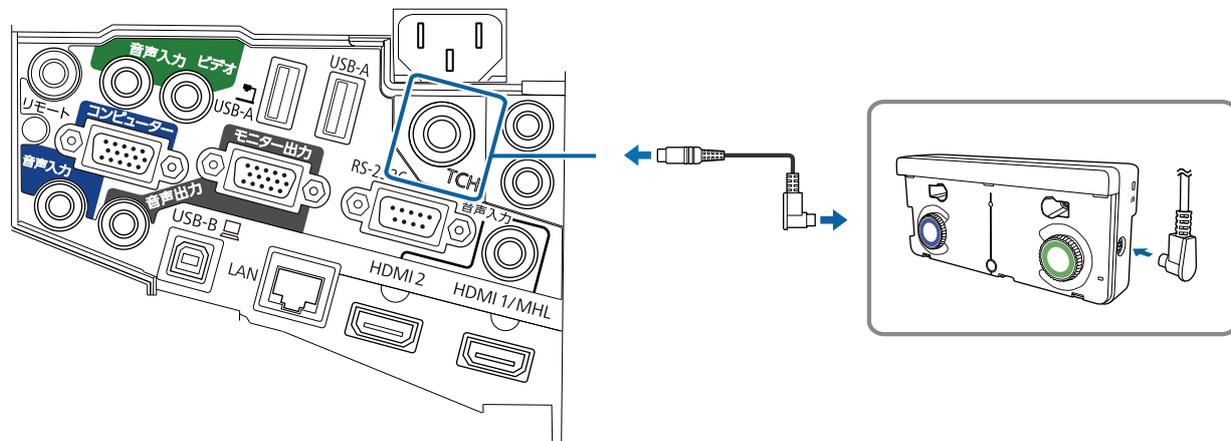
- H480x (xはAからZまでの1文字)
- H481x (xはAからZまでの1文字)
- H612x (xはAからZまでの1文字)
- H665x (xはAからZまでの1文字)

2014年5月30日現在の情報です。他の機種に接続したい場合や不明点は、『お問い合わせ先』(Document CD-ROM内) に記載の連絡先にご相談ください。

タッチユニットを取り付けるときに必要なケーブル (EB-1430WTのみ)

タッチユニットを取り付けてプロジェクターと接続するときは、同梱のタッチユニット接続ケーブルが必要です。市販のケーブルで接続すると、正しく動作しません。

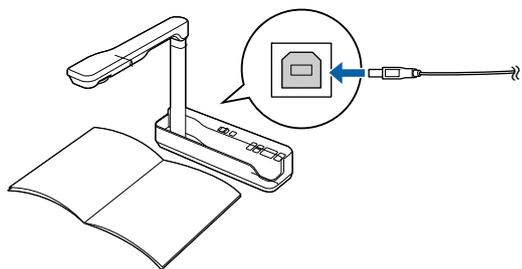
プロジェクターに接続する端子とタッチユニットに接続する端子はそれぞれ形状が異なります。下図を参考に、正しい端子を接続してください。



接続する機器に応じて用意するケーブル (一例)

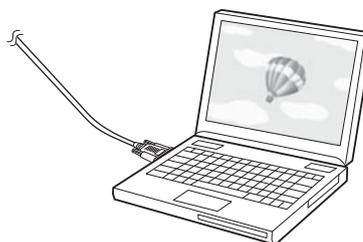
書画カメラ

専用USB ケーブル (書画カメラ同梱品)



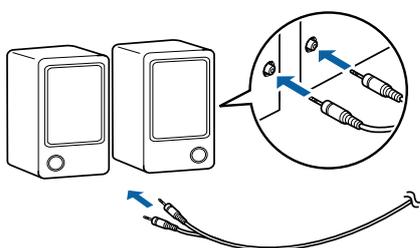
コンピューター

コンピューターケーブル (オプション品)



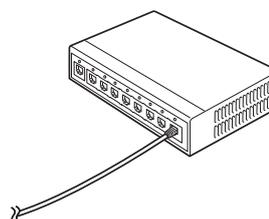
外部スピーカー

オーディオケーブル (市販品)



LAN機器

LAN ケーブル (市販品)



取り付け手順

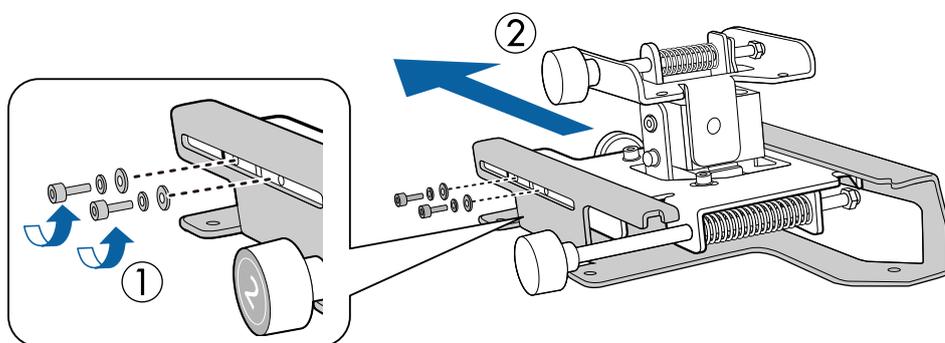
セッティングプレートは、必ず以下の手順に沿って設置してください。手順どおりに設置しないと製品が落下し、大変危険です。

警告

壁掛け設置やセッティングプレートの調整を行うときは、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。プロジェクターのスライドプレート固定部にネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などが付着するとケースが割れ、プロジェクターが落下して事故やけがの原因となります。

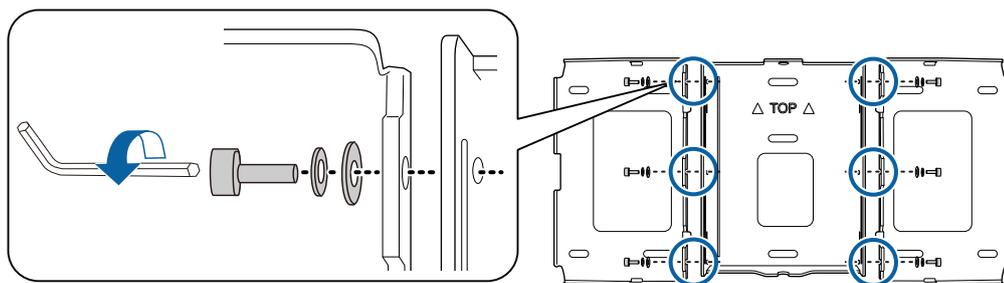
■ 固定されている部品を外す

M4ボルト（2本）を外して、スライドプレートを3軸調整ユニットから外します。

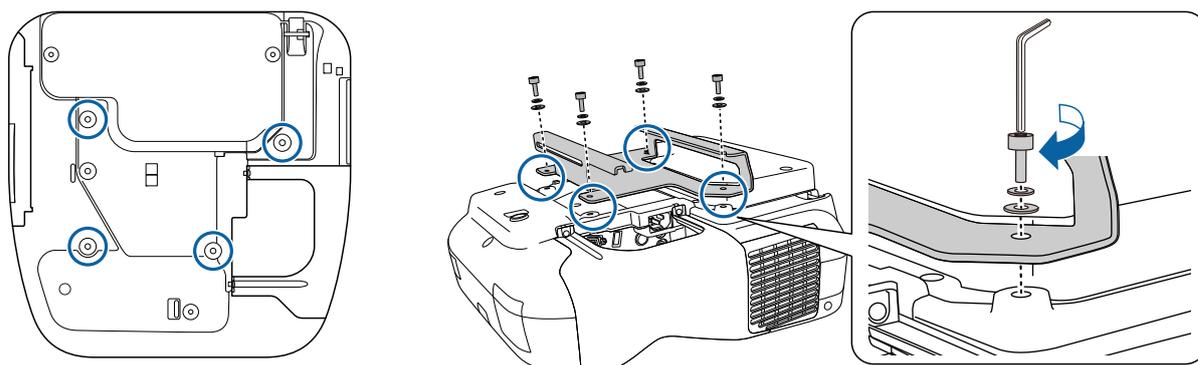


■ 各部を組み立てる

1 3枚のウォールプレートを1枚につなぎ合わせ、同梱のM4ボルト（6本）で固定する



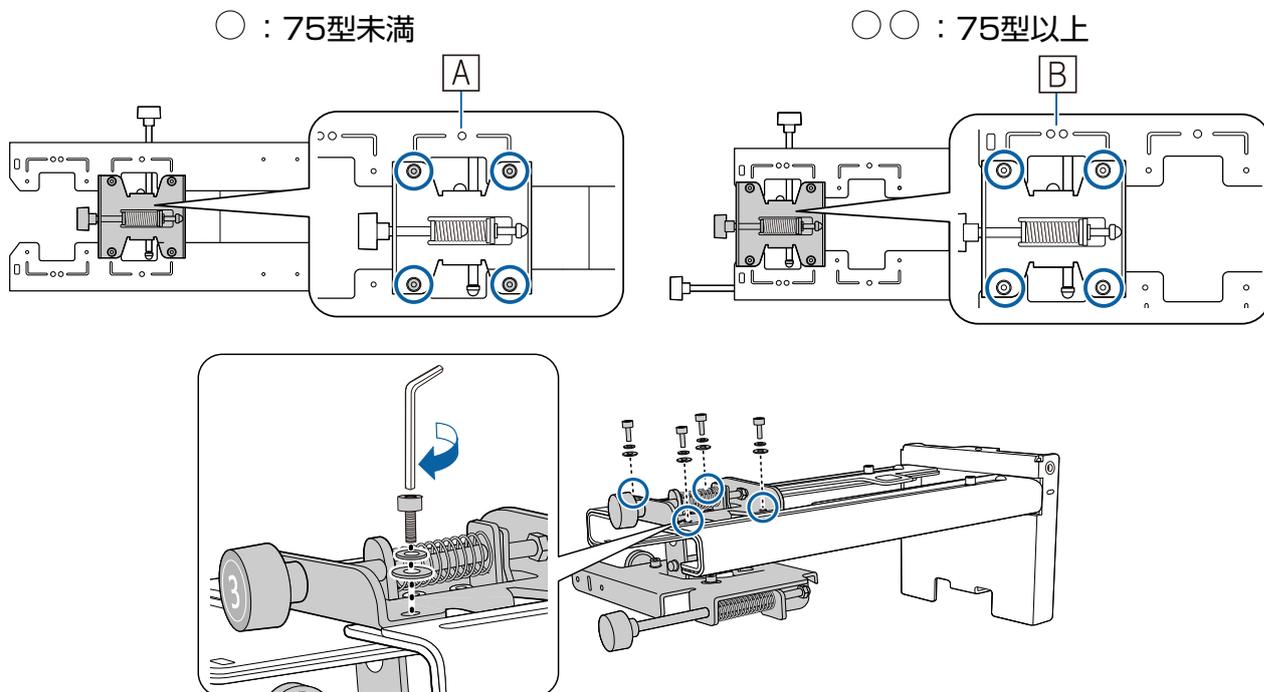
2 同梱のM4ボルト（4本）で、スライドプレートをプロジェクターの底面に固定する



ボルトを取り付ける位置

3 同梱のM4ボルト（4本）で、3軸調整ユニットをセッティングプレートに取り付ける

- 75型未満の画面を投写する場合：○の箇所（A）に取り付けます。
- 75型以上の画面を投写する場合：○○の箇所（B）に取り付けます。



■ ウォールプレートを壁に取り付ける

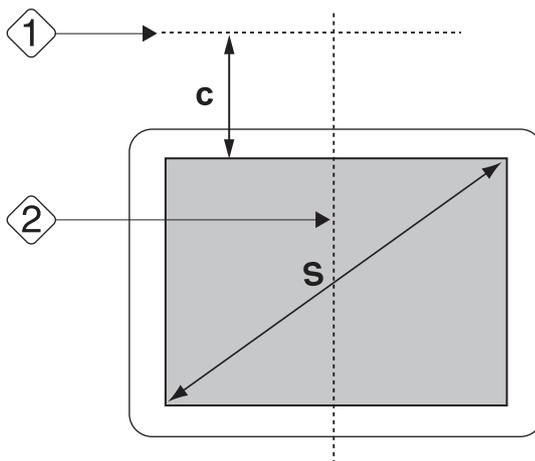
1 投写する画面サイズと、投写する位置を決める

投写する画面サイズ (S) と、投写する画面とウォールプレートの距離 (c) を投写距離表で確認してください。

☛ 「投写距離表」 p.17

以下の位置に印をつけることをお勧めします。ウォールプレートの取り付け位置を決める基準になります。

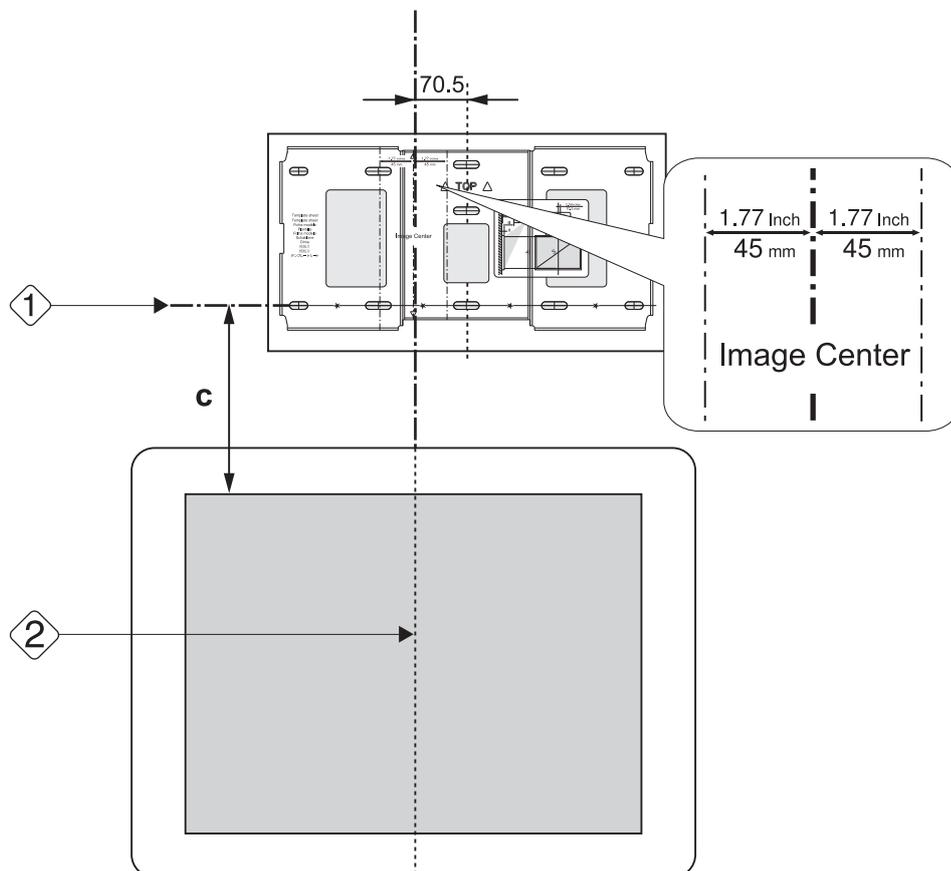
- 投写する画面上端とウォールプレートの距離 (c) の高さ (①)
- 投写する画面の中心線 (②)



2 テンプレートシートを壁に貼る

- 手順1で確認した中心線 (②) とテンプレートシートのImage Centerのラインを合わせます。
壁の中のハリの状況を確認し、必要に応じて左右位置をずらします。
(水平方向の許容シフト位置は投写する画面の中心線から左右最大45mmまで)
- 手順1で確認した高さ (①) とテンプレートシートの★のラインを合わせます。

[単位 : mm]

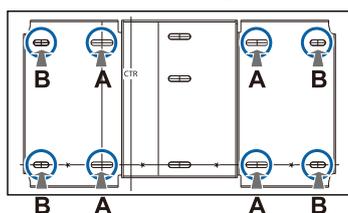


3 ウォールプレートの取り付け穴をあける位置を決める

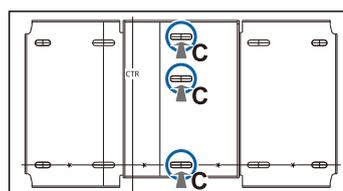
ウォールプレートは3箇所以上固定してください。

- 4箇所の場合は、図のAまたはBに穴をあけます。
- 3箇所の場合は、図のCに穴をあけます。

4箇所の場合

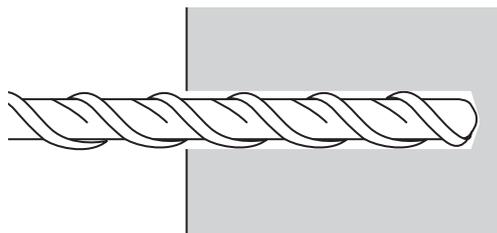


3箇所の場合

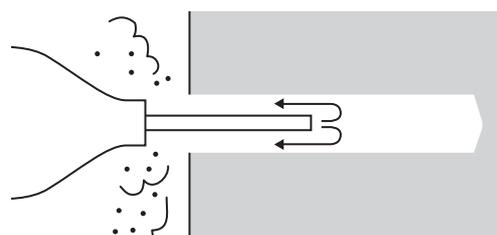


4 ドリルで壁に穴をあける

ドリル径：10.5mm
下穴深さ：45mm
埋込深さ：40mm

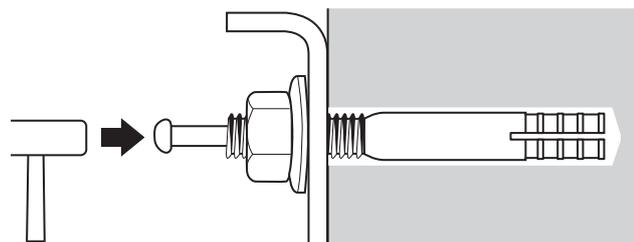


5 テンプレートシートを取り外し、ダストポンプなどで穴の中のコンクリート粉を取り除く

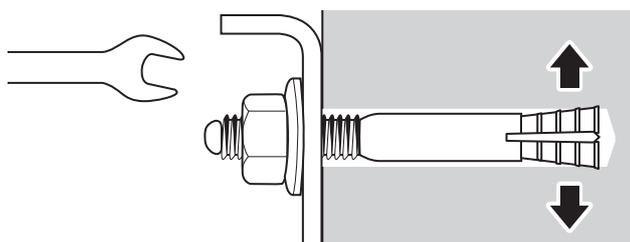


6 壁にウォールプレートを設置して、市販のM10×60mmアンカーボルトを穴に入れる

ナットを付けて、芯棒がアンカーボルト本体の頂部に接するまでハンマーなどでたたきます。



7 市販のスパナでナットを締めて、ウォールプレートが壁に固定する



■ 投写距離を決めてセッティングプレートにケーブル類を通す

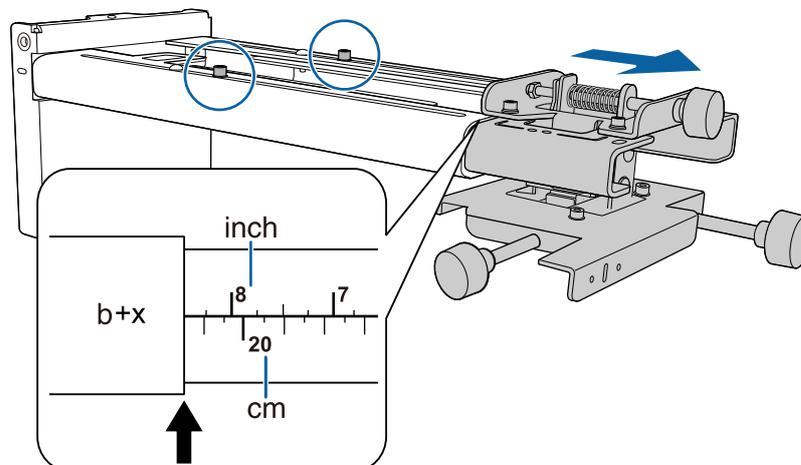
1 投写距離表で以下の数値を確認する

- アームスライドの目盛りの数値 (b)
- スクリーン表面から壁までの距離 (x)

☛ 「投写距離表」 p.17

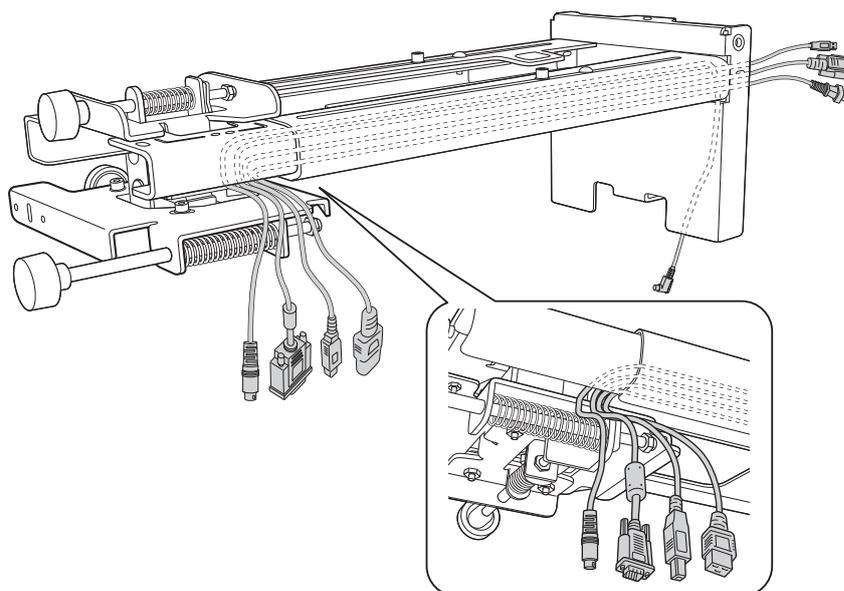
2 M4ボルト（2本）を緩めてから、セッティングプレートのアームスライドを引き出す

手順1で確認した (b) と (x) の合計距離をスライダーの目盛りに合わせます。



3 必要なケーブル類をセッティングプレート内に通す

下図を参考にして、プロジェクターに接続するケーブルの端子がプロジェクターのインターフェース側に出るように通してください。



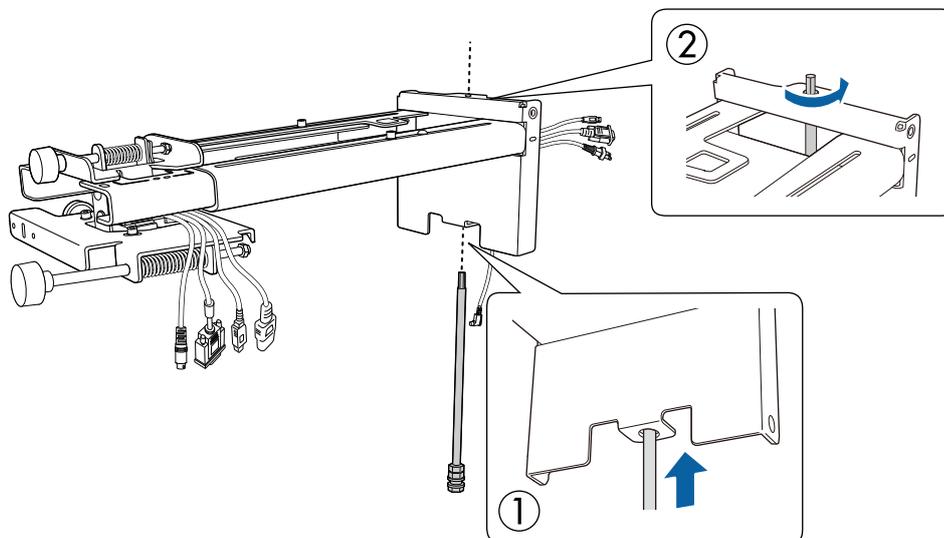
⚠ 警告

余ったケーブルをセッティングプレートの上に乗せないでください。落下事故の原因となります。

- ☑ • コントロールパッドに接続するケーブルもセッティングプレート内に通します。
- ☑ • タッチユニットに接続するケーブルもセッティングプレート内に通します（EB-1430WTのみ）。タッチユニットに接続する端子は、セッティングプレートの方へ出るように通してください。

■ セッティングプレートウォールプレートに取り付ける

1 六角軸をセッティングプレートに差し込む

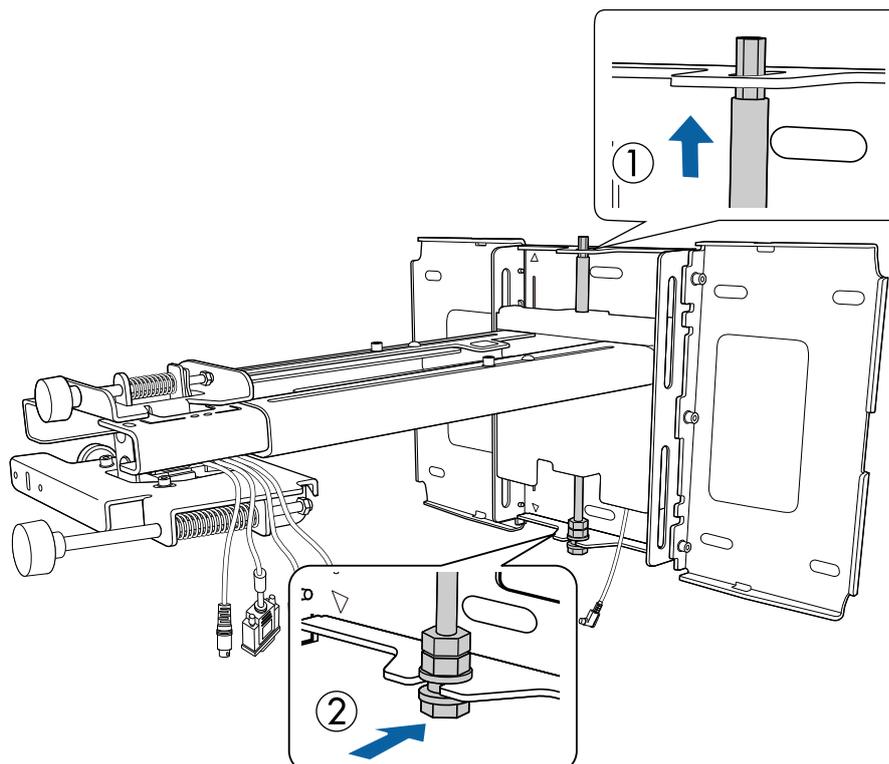


2 セッティングプレートウォールプレートにセットする

六角軸の上部をウォールプレートに差し込んでから、下部のM8ボルトを差し込みます。

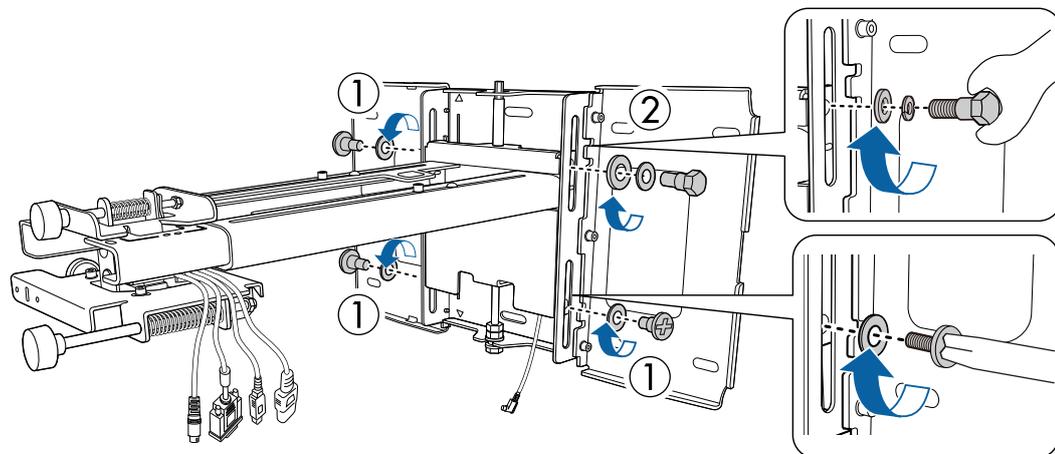
⚠ 注意

- タッチユニット接続ケーブルは壁の中に配線しないでください (EB-1430WTのみ)。壁の中に配線すると、タッチユニットと接続できなくなります。
- セッティングプレートとウォールプレートの上にケーブル類を挟まないように注意してください。



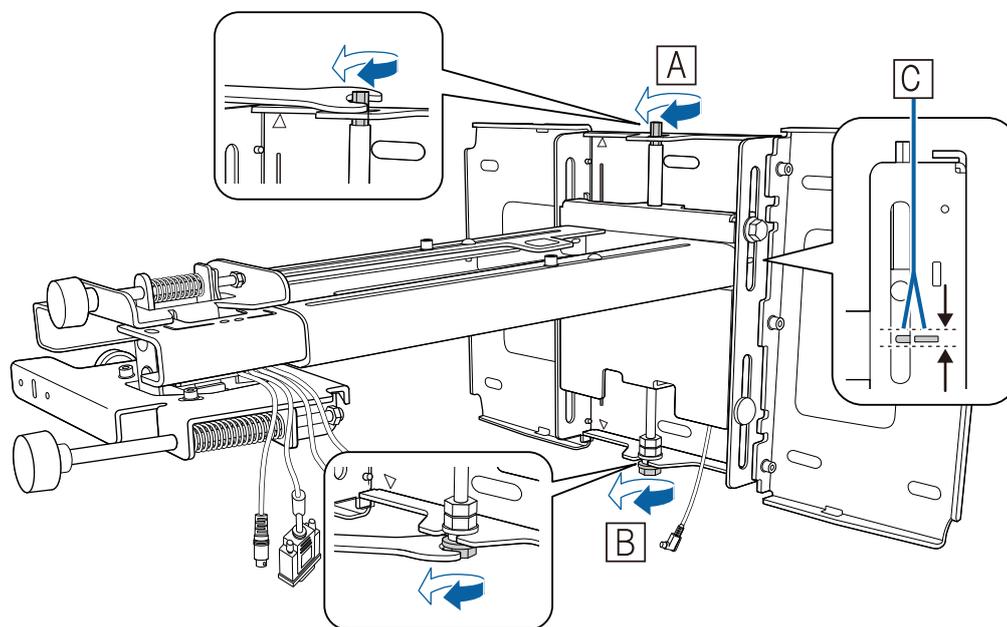
3 セッティングプレートとウォールプレートを固定する

同梱のM6ネジ（3本）を市販のNo.3のプラスドライバーで固定してから、同梱のM6ボルト（1本）をスパナで軽く締めます。

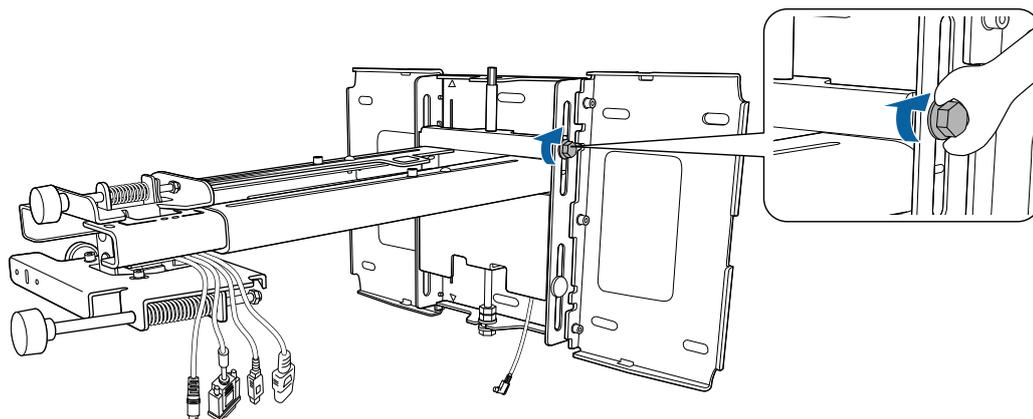


4 上下スライドを両口スパナで調整して、基準位置（C）に合わせる

- 上部の六角軸（A）を締めるとセッティングプレートが上がり、緩めると下がります。
- 下部のM8ボルト（B）を締めるとセッティングプレートが下がり、緩めると上がります。

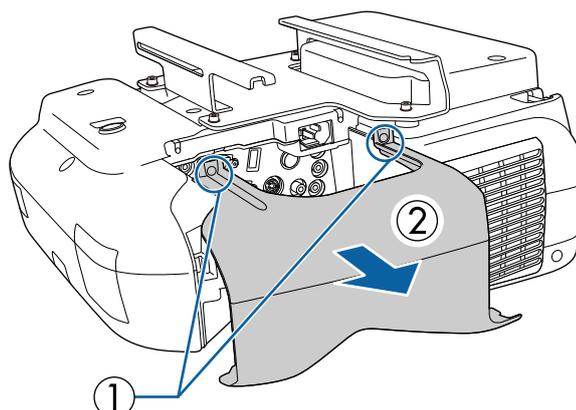


5 M6ボルト（1本）を締めて、セッティングプレートの位置を固定する

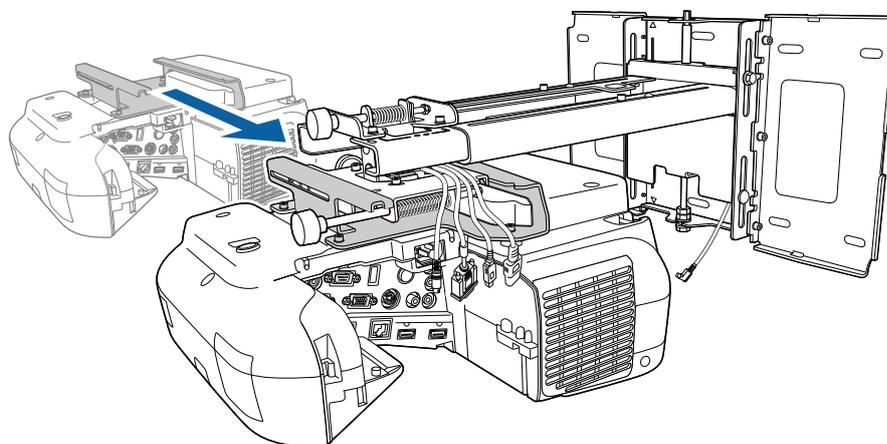


■ セッティングプレートにプロジェクターを固定する

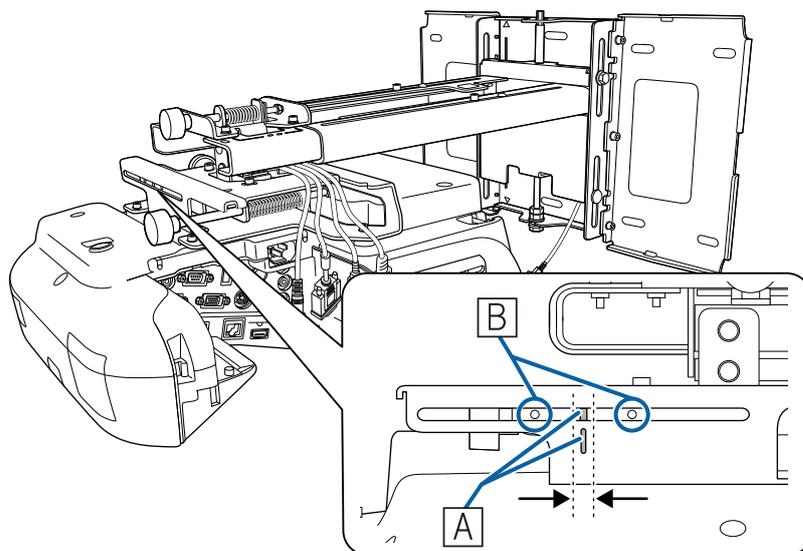
1 ネジ（2本）を緩め、プロジェクターからケーブルカバーを取り外す



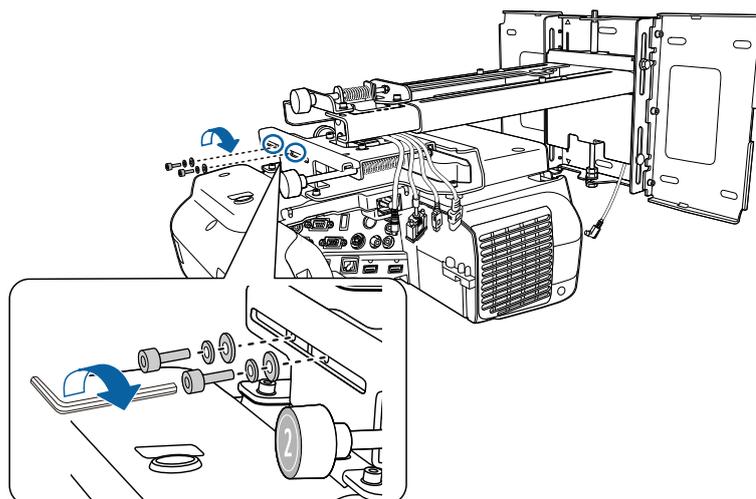
2 プロジェクターのインターフェイス側から、スライドプレートを設置プレートに差し込む



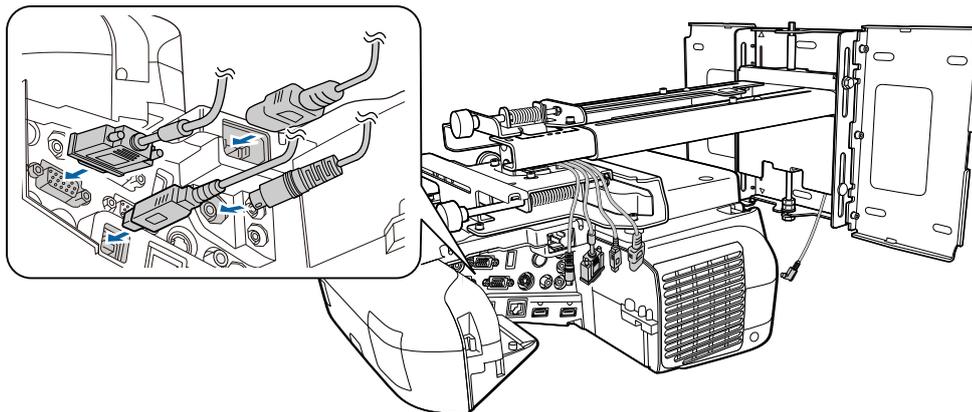
- 3 3軸調整ユニットとスライドプレートの基準位置 (A) を合わせる
(B) はボルト用のネジ穴です。



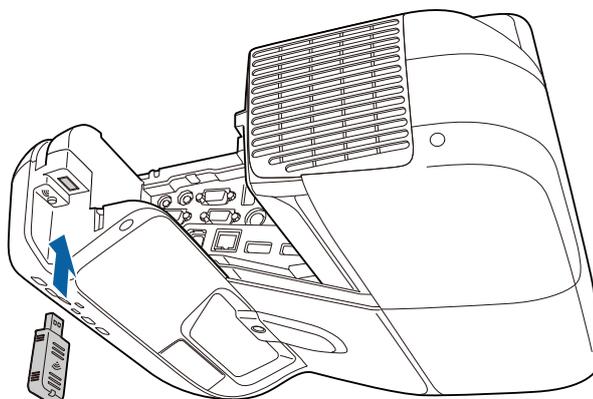
- 4 同梱のM4ボルト (2本) を締める



5 ケーブル類をプロジェクターに接続する



同梱の無線LANユニットは、無線LANユニット装着部に取り付けます。



- 電源コードは最後に接続してください。
- 音声入力1端子、音声出力端子、コンピューター入力端子に接続するときは、音声入力1端子、音声出力端子、コンピューター入力端子の順にケーブルを挿すことをお奨めします。

投写画面の調整

以下の手順で投写画面の調整を行います。

- 1 投写位置の調整 (☞ p.43)
- 2 フォーカスの微調整 (☞ p.48)
- 3 ペン位置合わせ (☞ p.49)

投写位置の調整

- プロジェクターの台形補正機能では調整しないでください。画質が悪くなる可能性があります。
- 本機を2台以上設置する場合に、一括設定機能を使って設定を行うときは、投写画面を調整する前に行ってください。

☞ 「一括設定機能」 p.78

- 1 リモコンまたは操作パネルの【電源】ボタンを押して、プロジェクターの電源を入れる



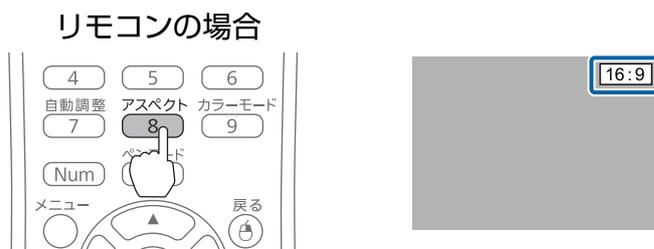
⚠ 注意

投写中は手や顔を排気口に近づけたり、変形など、熱による悪影響を受けるものを排気口の近くに置いたりしないでください。排気口から温風が出るため、やけどや変形、事故の原因となります。

- 2 投写画面のアスペクト比を切り替える (必要な場合のみ)

接続機器からの映像を投写して、リモコンの【アスペクト】ボタンを押します。

押すたびに画面上にアスペクト名が表示され、アスペクト比が切り替わります。



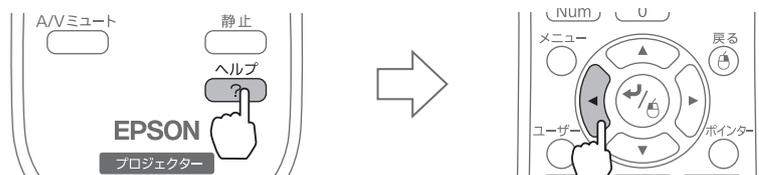
- 投写する機器との接続方法、映像の投写方法は『かんたん操作ガイド』をご覧ください。
- 接続機器からの映像が投写されていないときはアスペクト比は切り替えられません。
- 環境設定メニューの [映像] - [アスペクト] からアスペクト比を切り替えられます。

☞ プロジェクターの『取扱説明書』 - 環境設定メニュー

3 以下のボタンを押して、ガイド画面を表示する

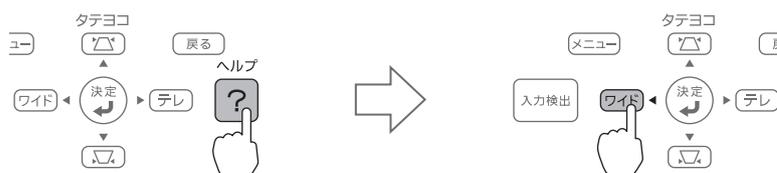
- リモコンの場合

【ヘルプ】ボタンを押してから【↶】を押します

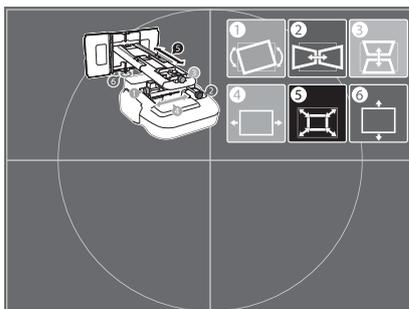


- 操作パネルの場合

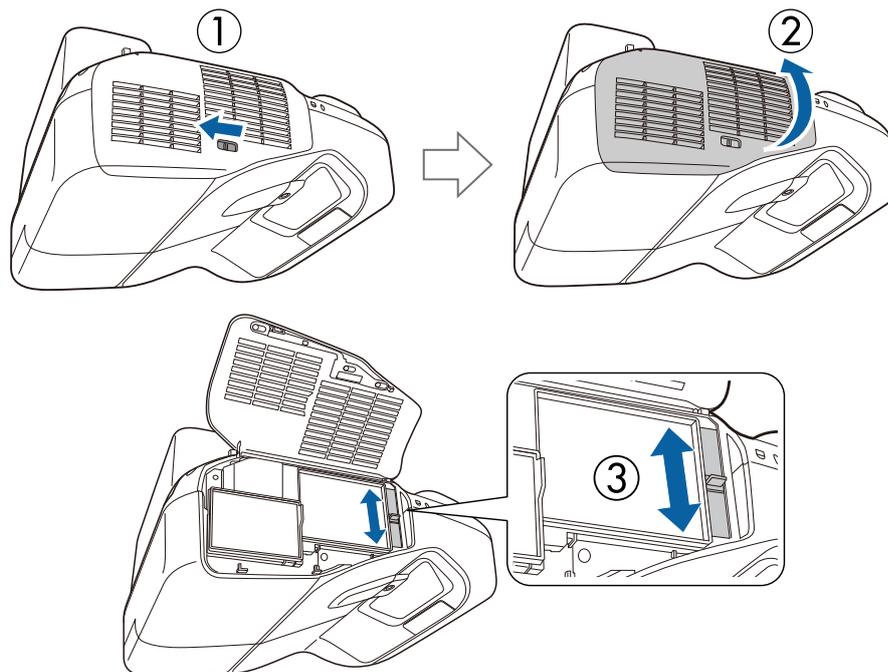
【ヘルプ】ボタンを押してから【ワイド】ボタンを押します



ガイド画面が表示されます。



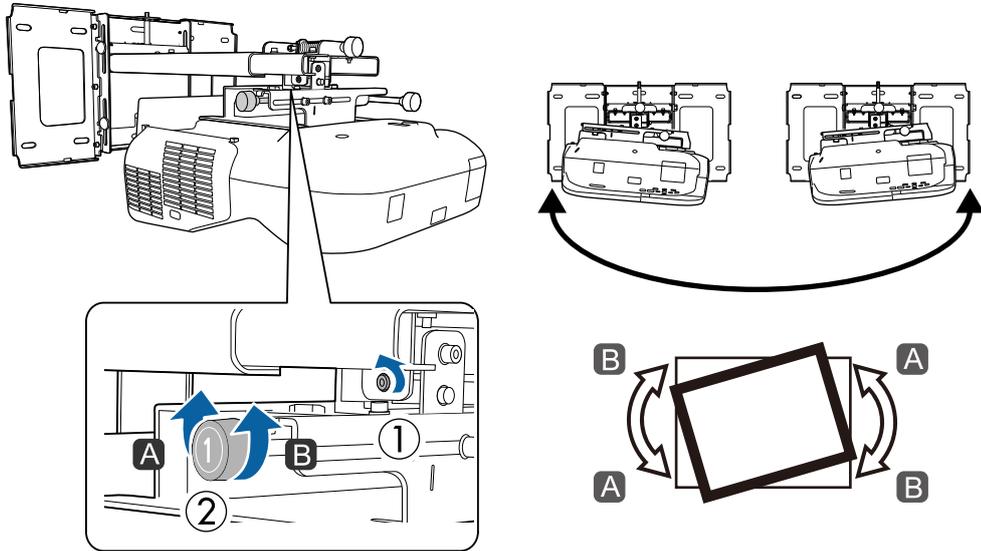
4 エアフィルターカバーを開けて、フォーカスレバーでピントを調整する



調整が終了したら、エアフィルターカバーを閉じます。

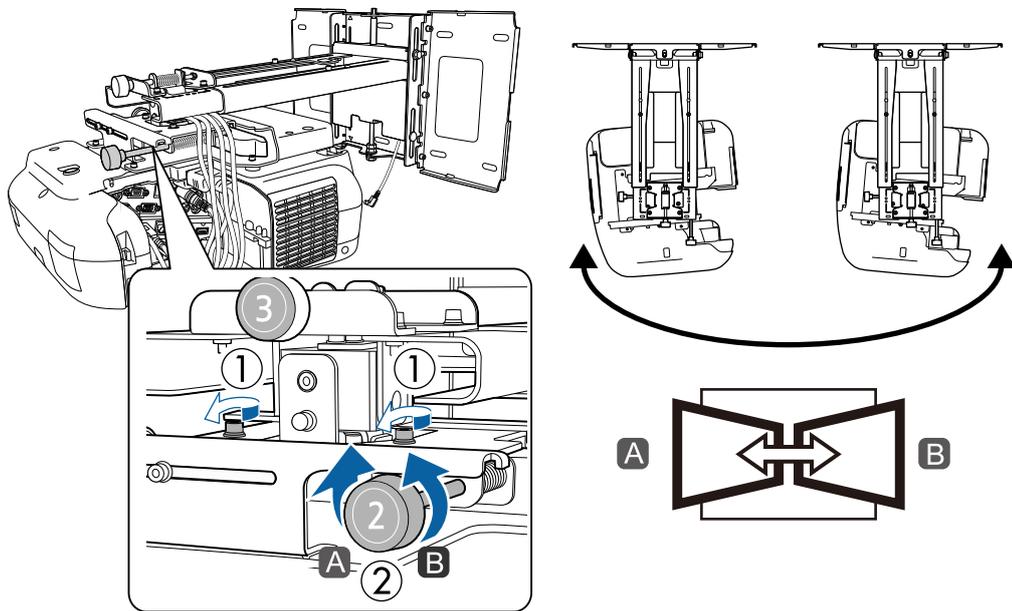
5 六角レンチでM4ネジ（1本）を緩めてから、調整ダイヤルで水平ロールを調整する

 必要に応じて手順5～10を繰り返します。



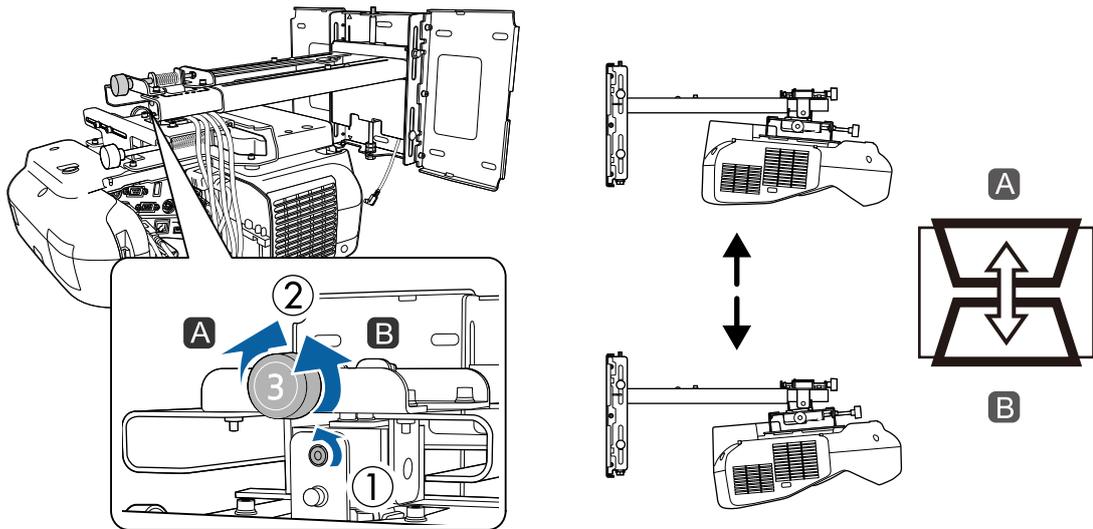
調整が終了したら、緩めたM4ネジを締め直します。

6 六角レンチでM4ネジ（2本）を緩めてから、調整ダイヤルで水平回転を調整する



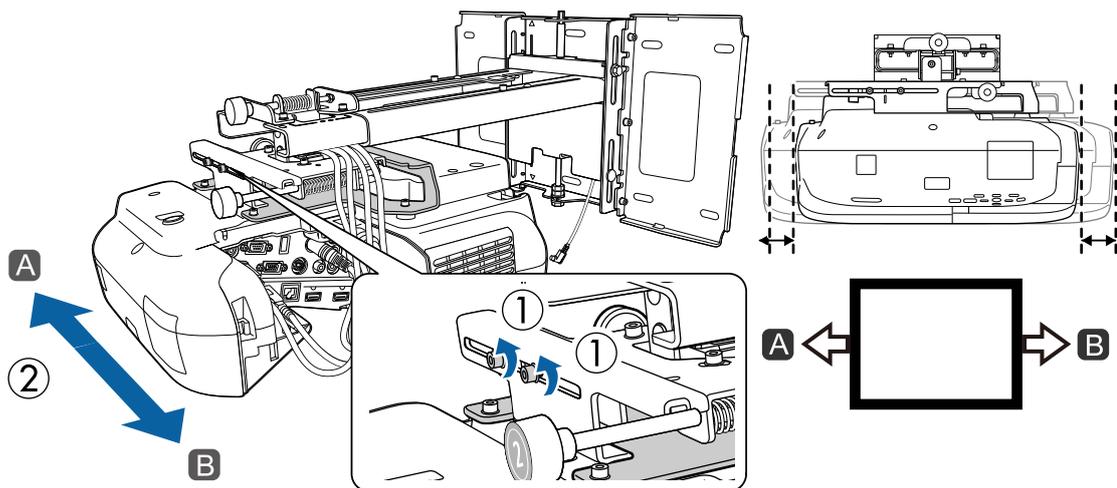
調整が終了したら、緩めたM4ネジを締め直します。

7 六角レンチでM4ネジ（1本）を緩めてから、調整ダイヤルで上下チルトを調整する



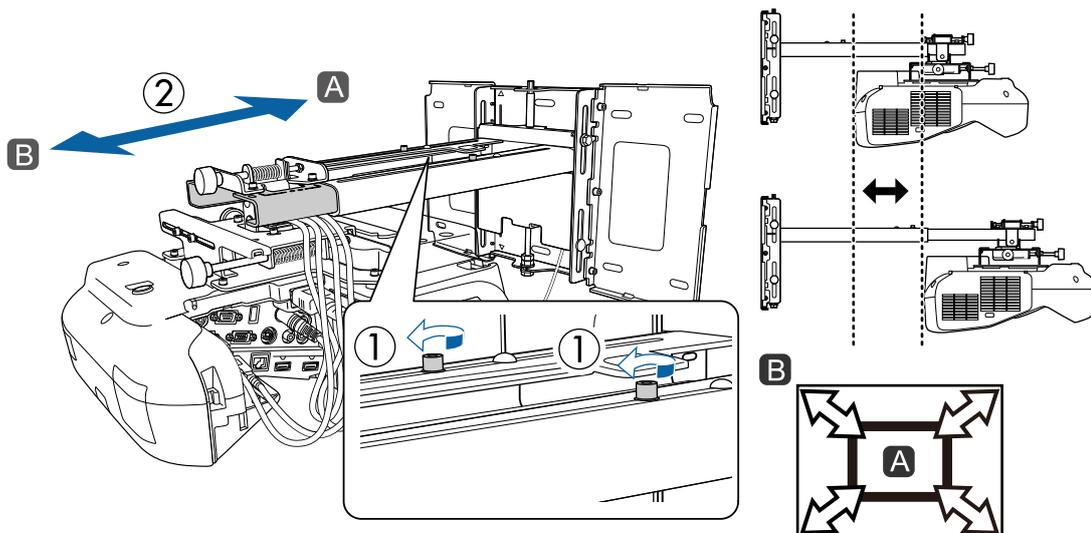
調整が終了したら、緩めたM4ネジを締め直します。

8 六角レンチでM4ボルト（2本）を緩めてから、水平スライドを調整する



調整が終了したら、緩めたM4ボルトを締め直します。

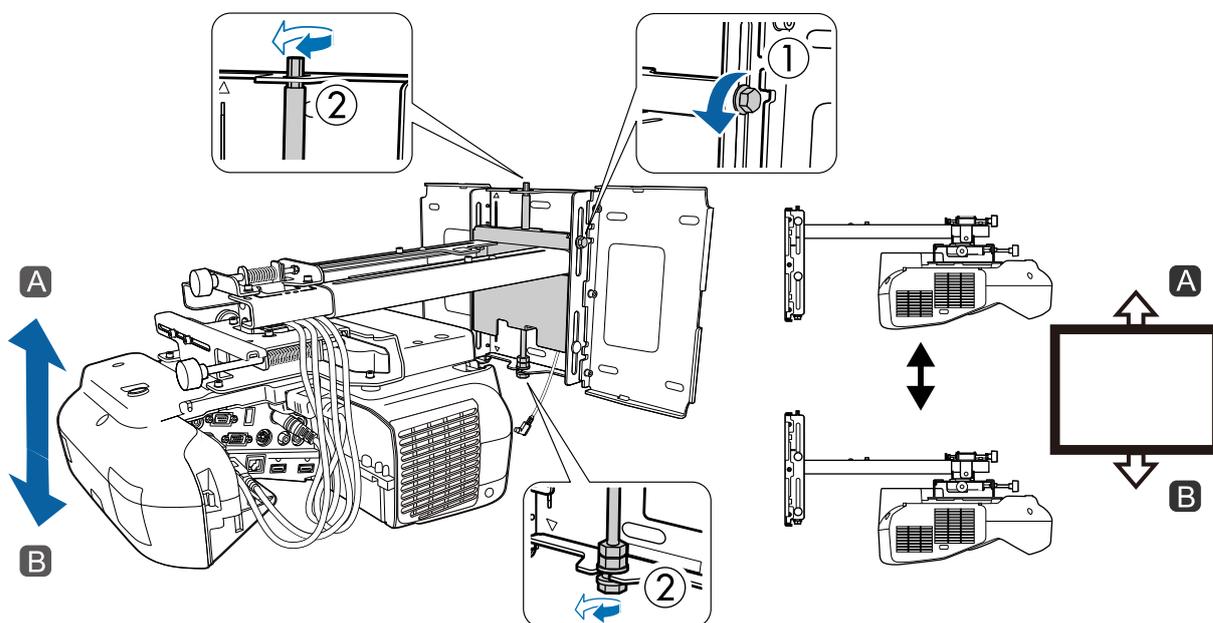
9 六角レンチでM4ボルト（2本）を緩めてから、前後スライドを調整する



調整が終了したら、緩めたM4ボルトを締め直します。

10 両口スパナでM6ボルト（1本）を緩めてから、上下スライドを調整する
六角軸の上部または下部で、上下スライド調整をします。

- 上部の六角軸を締めるとセッティングプレートが上がり、緩めると下がります。
- 下部のM8ボルトを締めるとセッティングプレートが下がり、緩めると上がります。



調整が終了したら、緩めたM6ボルトを締め直します。

11 手順5から手順10で緩めたボルトやネジがすべて締まっていることを確認する

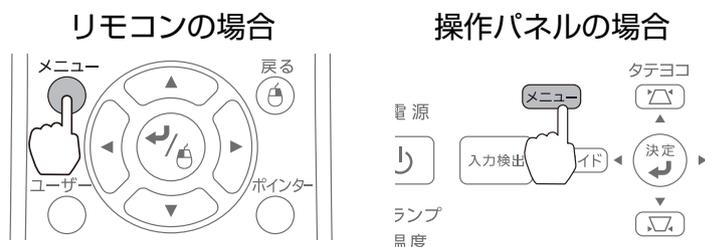
 警告

すべてのボルトやネジを完全に締め直してください。十分に締めないと落下によりけがや事故の原因となります。

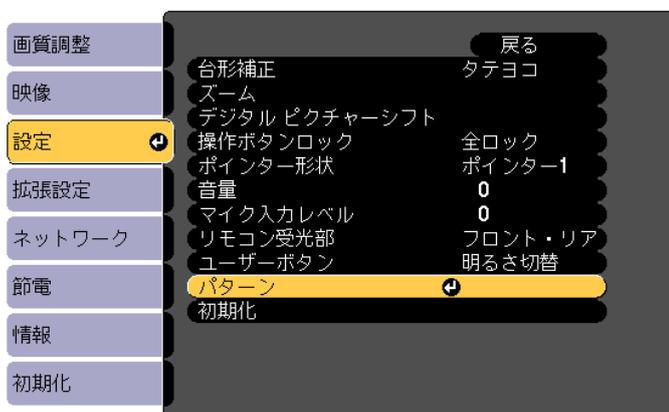
12 リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押して、ガイド画面を消す

フォーカスの微調整

1 プロジェクターの電源をオンにして、【メニュー】ボタンを押す



2 【設定】で【パターン】を選択する



3 【テストパターン】を選択する

4：3のスクリーンに投写しているときは、【パターン種類】を【パターン5】に設定してから、【パターン表示】を選択してください。

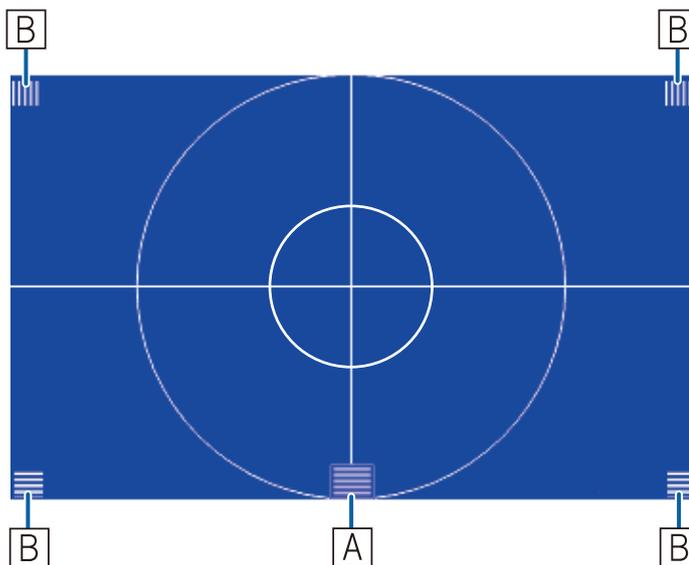


4 下図 (A) のピントが合うようにフォーカスを調整する

エアフィルターカバーを開け、フォーカスの調整を行ってください。

☛ 「投写位置の調整」 p.43

(A) のピントを合わせたら、(B) のピントが合っていることを確認します。(B) の中でピントが合っていない箇所があるときは、(B) のピントが均一になるようにフォーカスを調整します。



調整が終了したら、エアフィルターカバーを閉じます。

5 リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押して、テストパターンを消す

■ ペン位置合わせ

投写画面の調整が終わっていることを確認してから、Easy Interactive Penの位置合わせを行ってください。

☛ 「投写画面の調整」 p.43

ペン位置合わせは、[自動位置合わせ] と [手動位置合わせ] の2つの方法があります。プロジェクターの設置後初めてペン位置合わせをするときは、より正確に位置を合わせるために、[手動位置合わせ] を行ってください。

[自動位置合わせ] の方法はプロジェクターの『取扱説明書』(Document CD-ROM内) をご覧ください。

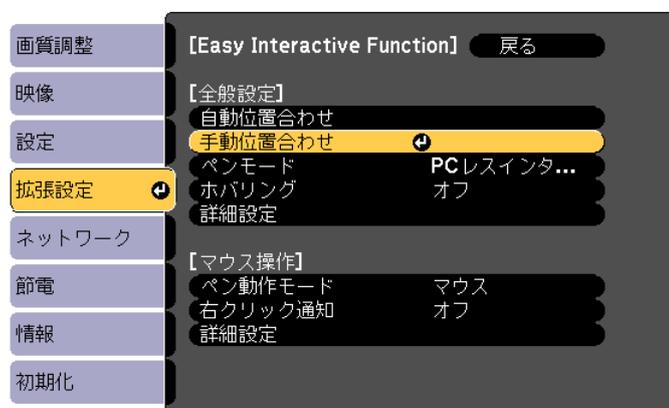
1 プロジェクターの電源をオンにして、【メニュー】ボタンを押す



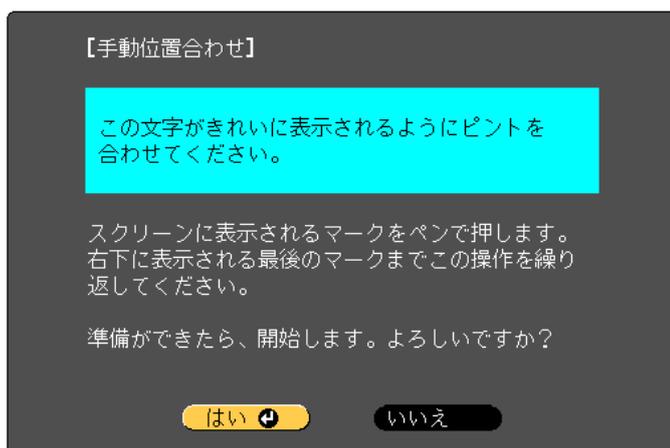
2 [拡張設定] で [Easy Interactive Function] を選択する



3 [手動位置合わせ] を選択する



4 ピントが合っていることを確認して、[はい] を選択する

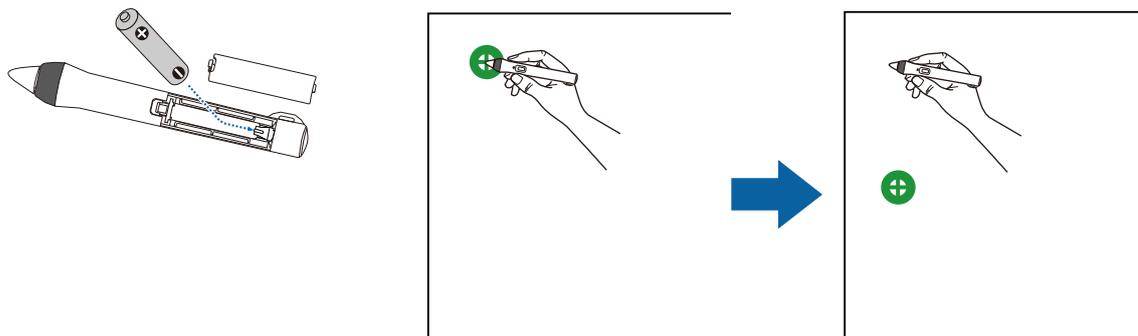


投写画面の左上に緑色のドットが表示されます。

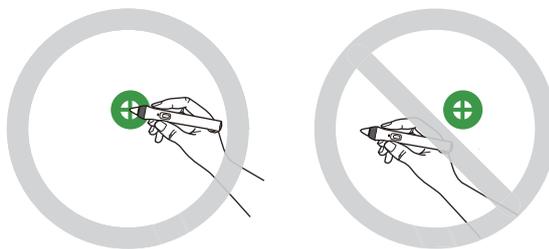
5

ドットの中心をEasy Interactive Penのペン先ボタンで押す

ドットが消えて次の位置に移動します。



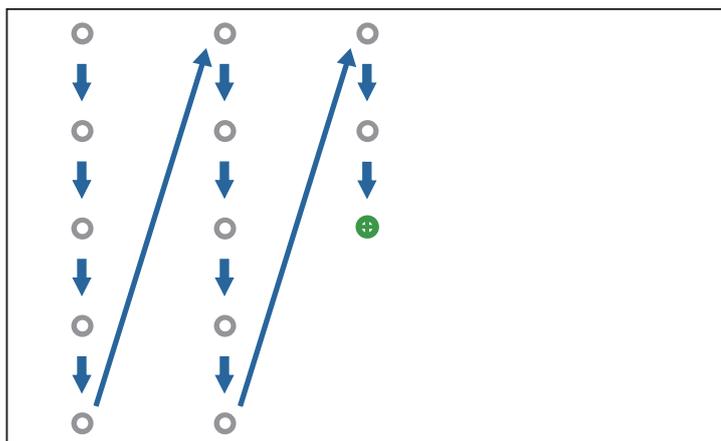
必ずドットの中心を押してください。中心以外を押すと位置ずれの原因となります。



6

すべてのドットが消えるまで、手順5を繰り返す

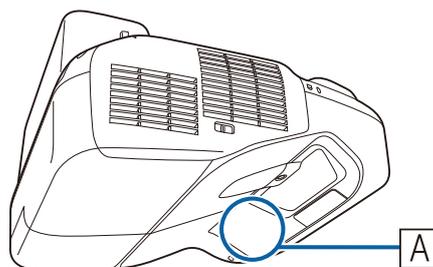
ドットはスクリーンの左上から右下に向かって、順番に表示されます。



すべてのドットが消えると、手動位置合わせが完了します。



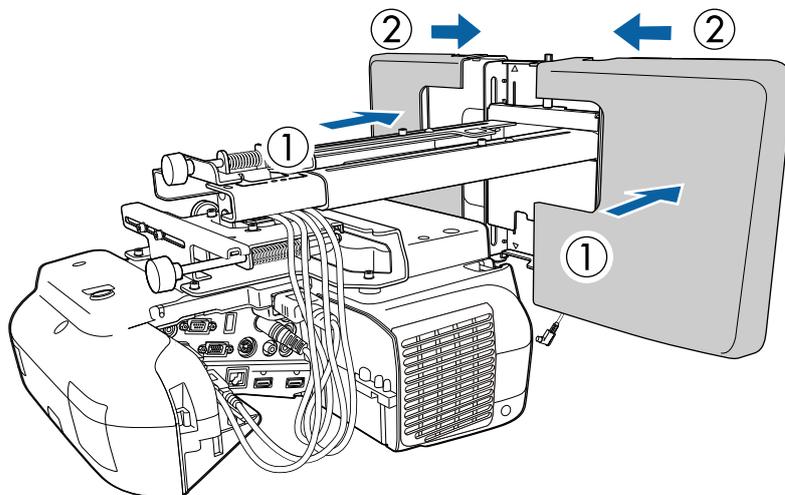
- Easy Interactive PenとEasy Interactive Function受光部（A）との間に障害物がないことを確認してください。



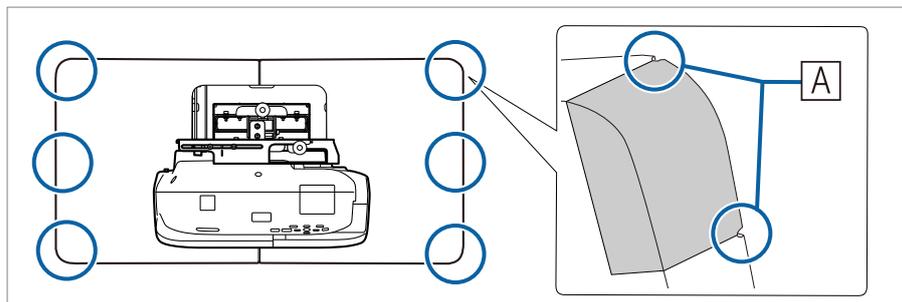
- 押す位置を間違えたときは、リモコンの【戻る】ボタンを押して1つ前のドットに戻ります。
- 中止するときは、【戻る】ボタンを2秒間押し続けます。

カバー類の取り付け

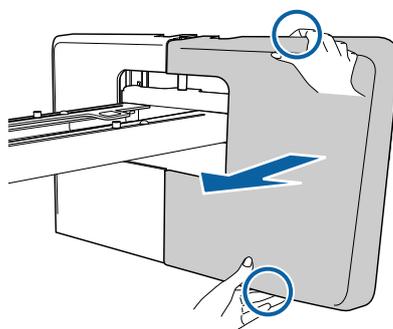
1 ウォールプレートカバーを取り付ける



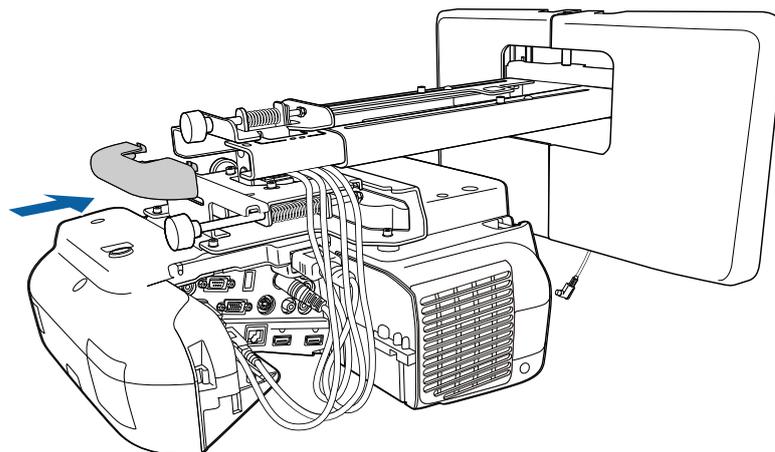
- ケーブルの配線状態に応じて、ウォールプレートカバーの切り欠き部（A）をカットしてケーブル類を引き出してください。カット面はバリ取り処理をしてください。ケーブル類を引き出すときは、ケーブル類を傷つけないように引き出してください。また、カッターをご使用の際は安全面に十分注意してください。



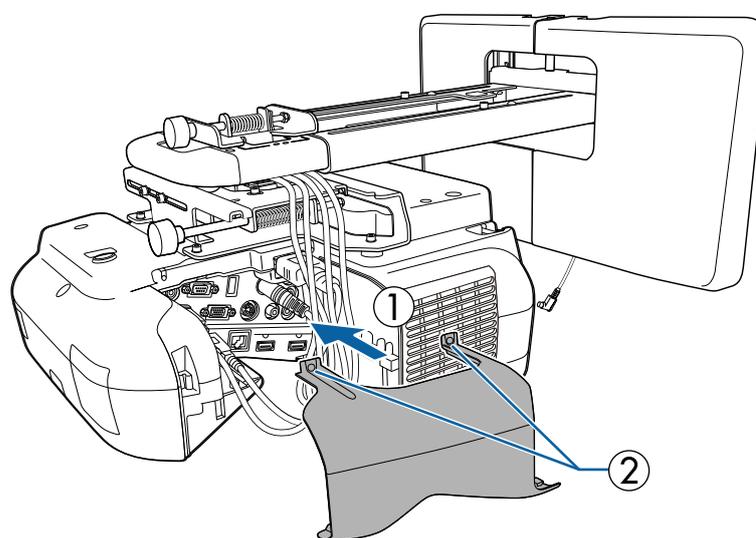
- ウォールプレートカバーを取り外すときは、ウォールプレートカバー背面の上下にあるツメを、指で同時に押して手前に引きます。



2 エンドキャップの凹部を上にしてセッティングプレートにはめ込む



3 プロジェクターにケーブルカバーを取り付けて、ネジ（2本）で固定する



⚠ 注意

プロジェクターのメンテナンスや修理をするときは、必ず工事専門業者がプロジェクターの取り外しと再設置を行ってください。なお、プロジェクターのメンテナンスおよび修理の方法は、プロジェクターの『取扱説明書』を参照してください。

⚠ 警告

- 設置後は、ボルト・ナットを絶対に緩めないでください。また、定期的にネジ類の緩みがないことを確認してください。万一、緩みがあるときは、確実に締め直してください。十分に締めないと落下によりけがや事故の原因となります。
- 本製品にぶら下がらないでください。また、重い物をぶら下げないでください。本製品が壊れて落下すると大変危険です。本製品が落下すると、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。

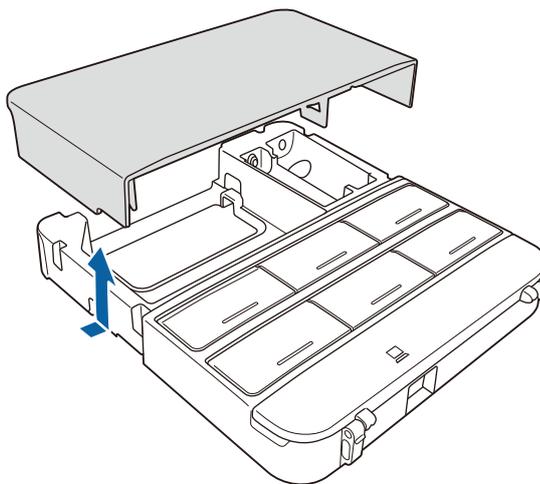
☐ コントロールパッドの取り付け

取り付け手順

コントロールパッドの設置場所については以下をご覧ください。

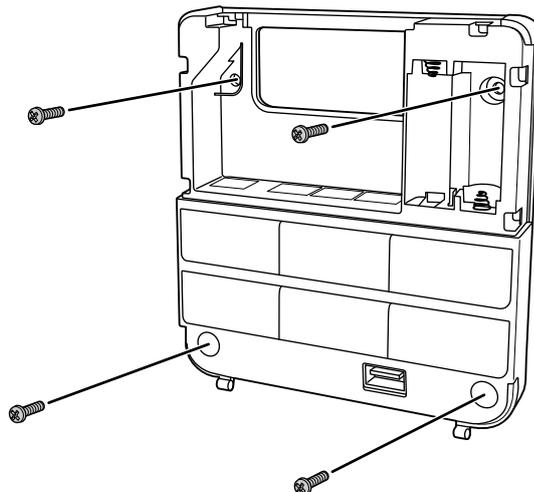
- ☛ 「コントロールパッドの設置場所」 [p.5](#)
- ☛ 「コントロールパッドを取り付けるとき」 [p.20](#)

1 ケーブルカバーを取り外す



2

取り付け位置を確認して、市販のM4ネジ（20mm×4本）で固定する
コントロールパッドを市販のM4ネジ（20mm×4本）で固定してください。

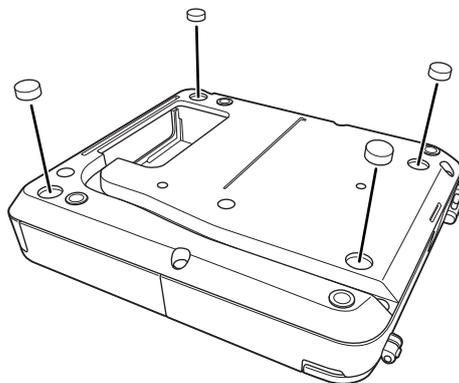


 警告

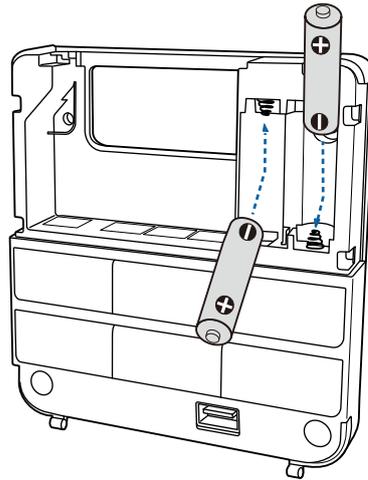
- 取り付け面に対してネジが斜めにならないように固定してください。
- コントロールパッドが確実に固定されていることを確認してください。
- コントロールパッドを両面テープやマグネットで固定しないでください。



- ネジで固定する前に、コントロールパッドの動作確認を行うことをお勧めします。
- コントロールパッドを机の上に設置する場合は、同梱の滑り止め用ゴムフット（4本）を、コントロールパッドの底面に取り付けます。



3 同梱の電池（2本）で電源を供給する



注意

電池を取り扱う前に、『安全にお使いいただくために』（Document CD-ROM内）をご覧ください。



- 交換用の電池は単3形マンガン乾電池あるいは単3形アルカリ乾電池（推奨）を2本用意してください。単3形マンガンあるいはアルカリ乾電池以外の電池は使用しないでください。充電式乾電池は使用できません。
- プロジェクターから電源を供給するときは、オプションのワイヤードリモコンケーブル（ELPKC28）で、プロジェクターのリモート端子とコントロールパッドのリモート端子を接続します。プロジェクターから電源を供給するときは、コントロールパッドに電池を入れしないでください。

4 必要に応じてプロジェクターに接続するケーブルと、コントロールパッドの端子を接続する

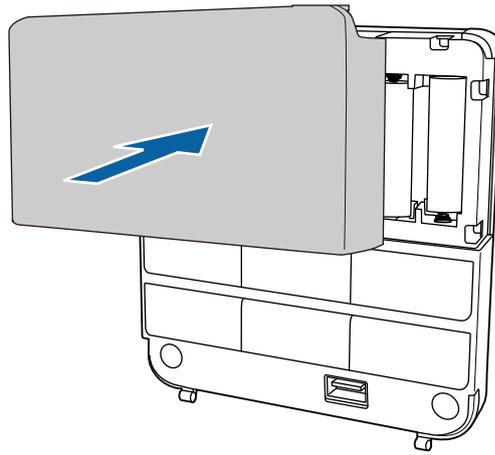
ケーブルの接続方法は以下を参照してください。

- 「コントロールパッドを取り付けるときに必要なケーブル」 [p.31](#)

5 コントロールパッドの使用しない端子に同梱の端子保護シールを貼る

6

ケーブルカバーを取り付ける



タッチユニットの取り付け (EB-1430WTのみ)

タッチユニットを取り付ける前に、以下の作業が終わっていることを確認してください。

- プロジェクターの取り付け (☞ p.30)
- 投写画面の調整 (☞ p.43)
- Easy Interactive Penの位置合わせ (☞ p.49)

取り付けについて

- タッチユニットの背面にはマグネットが内蔵されています。マグネットをスクリーンに付けるだけでタッチユニットを取り付けられます。
- マグネットが使えないスクリーンには、市販のM4ネジ (3本) を使って取り付けてください。
- タッチユニットは、スクリーン表面と同じ平面に取り付けてください。
- タッチユニットは、そりやゆがみのない平面に取り付けてください。スクリーン表面に5mm以上の凹凸があると、指位置が検出されず、指タッチ操作を正しく行えないことがあります。

取り付け手順

タッチユニットを取り付けて、プロジェクターと接続します。

⚠ 注意

EB-1430WT以外のプロジェクターや他の機器にタッチユニットを接続しないでください。

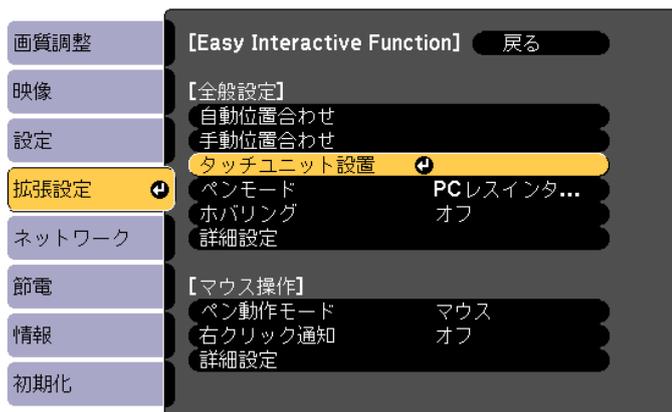
1 プロジェクターの電源をオンにして【メニュー】ボタンを押す



2 【拡張設定】で [Easy Interactive Function] を選択する



3 [タッチユニット設置] を選択する



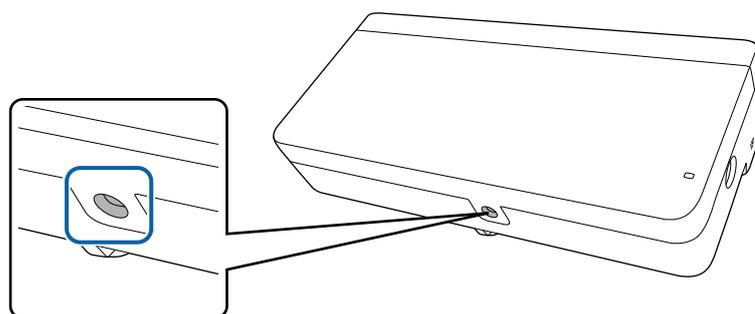
4 [設置パターン] を選択する



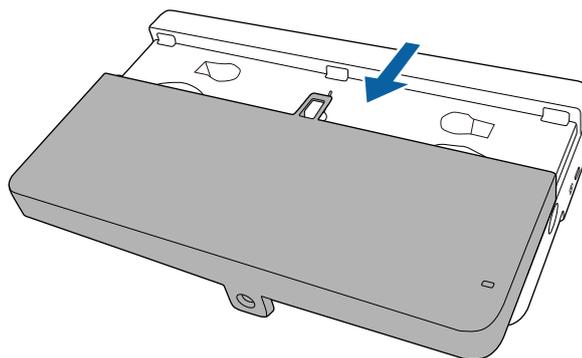
投写画面に設置パターンが表示されます。



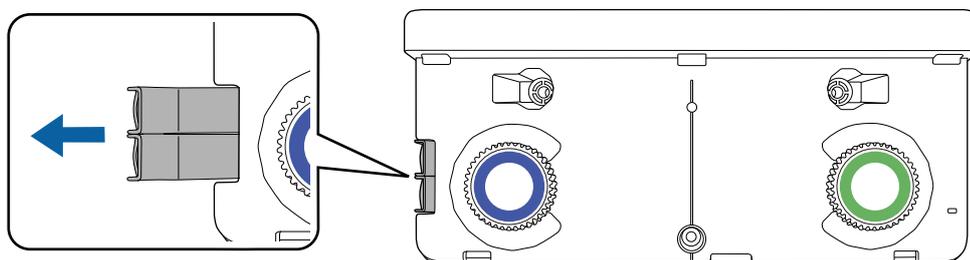
5 ダイアルカバーの下部にあるネジを市販のNo.2のプラスドライバーで緩める



6 ダイヤルカバーを下にスライドさせて外す



7 タッチユニットからマーカ（2個）を取り外す



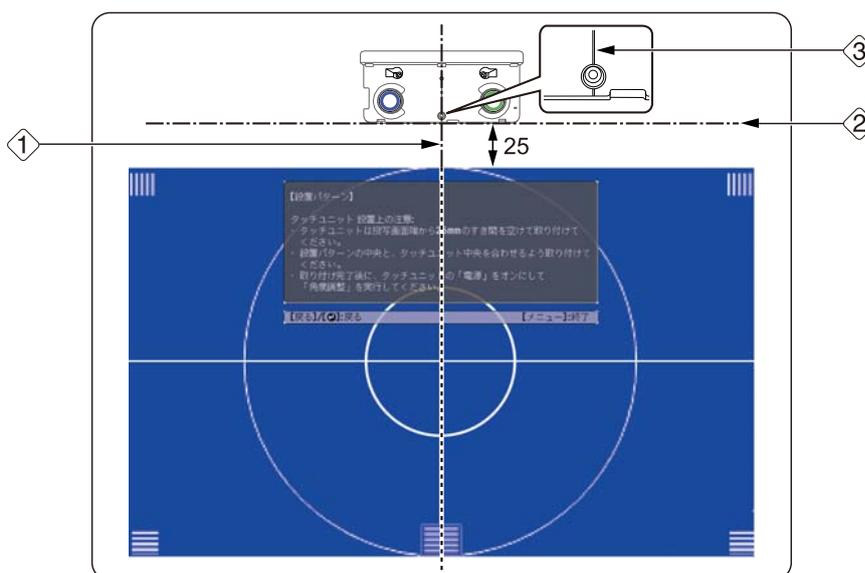
取り外したマーカは、タッチユニット取り付け後に行うレーザー照射の角度調整時に使います。

8 タッチユニットの取り付け位置を決める

取り付けやすいように、以下の取り付け位置に印を付けることをお勧めします。

- (①) : 設置パターンの中心線です。タッチユニットの中心線 (③) と合わせます。
- (②) : 投写画面の上端から25mmの高さです。タッチユニットの下端と合わせます。

[単位 : mm]



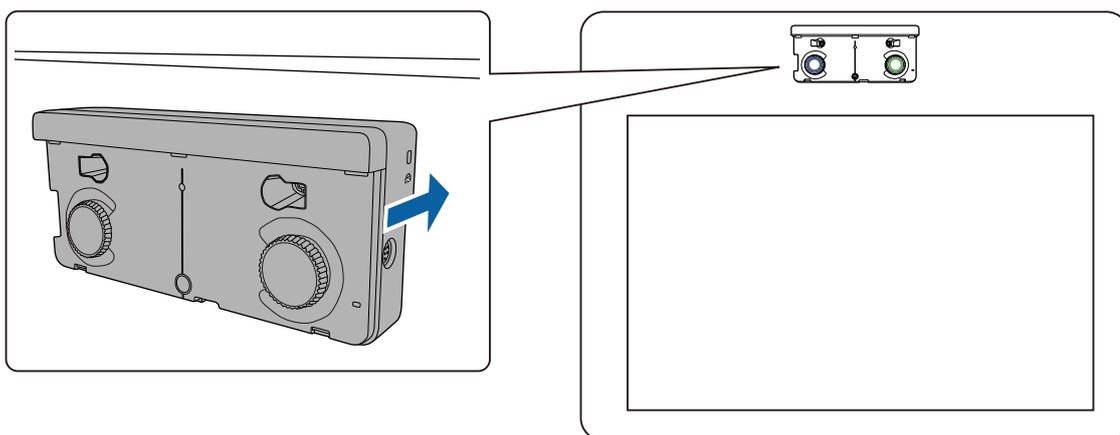
9

タッチユニットを固定する

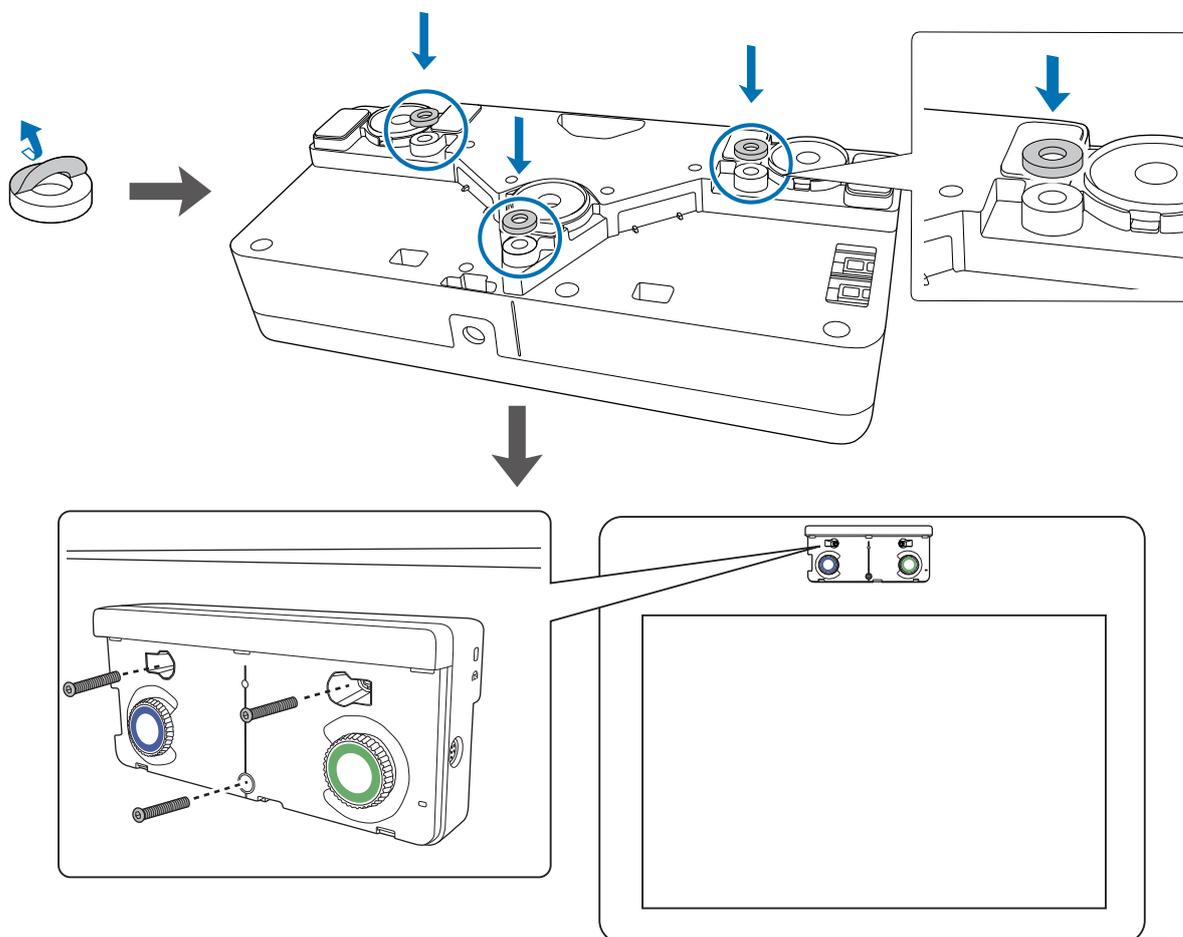
- マグネットが使えるスクリーン：タッチユニットの背面を設置面に貼り付けて固定します。

⚠ 注意

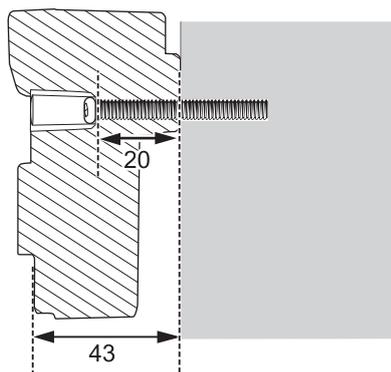
マグネットが使える設置面にタッチユニットを取り付けるときは、マグネットと設置面の間に指や体の一部をはさまないようにご注意ください。マグネットと設置面の間には、非常に強い吸引力が働きます。



- マグネットが使えないスクリーン：同梱のスペーサーを貼り付けてから、市販のM4ネジ（3本）で固定します。

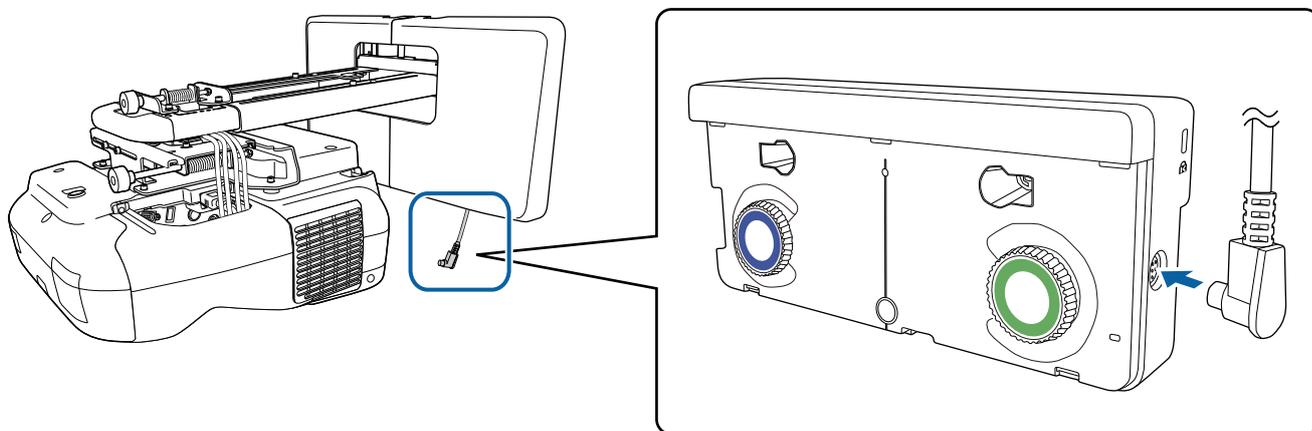


[単位 : mm]



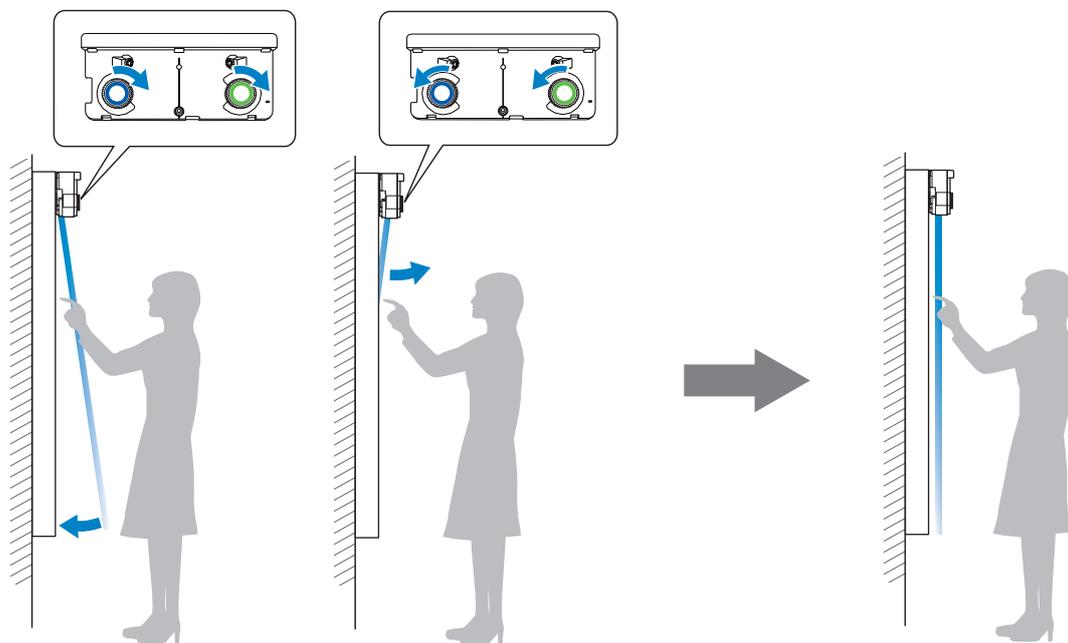
ネジ穴断面図

- 10 プロジェクターに接続したタッチユニット接続ケーブルを、タッチユニットのTCH端子に接続する



角度調整

タッチユニットが指の位置を検出できるように、タッチユニットから照射されるレーザーの角度を調整します。



角度を調整する前に、Easy Interactive Penの位置合わせが終わっていることを確認してください。

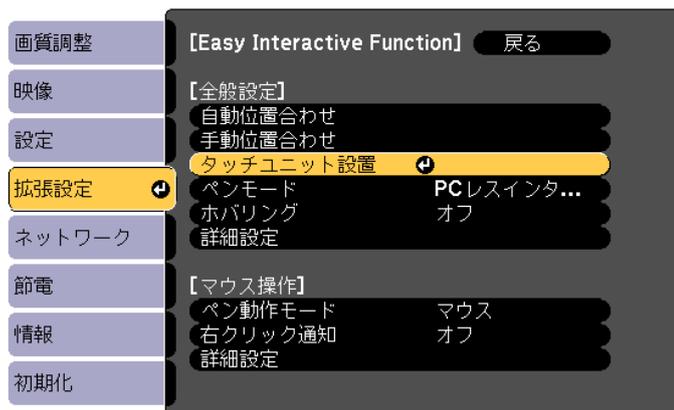
👁️ 「ペン位置合わせ」 [p.49](#)

1

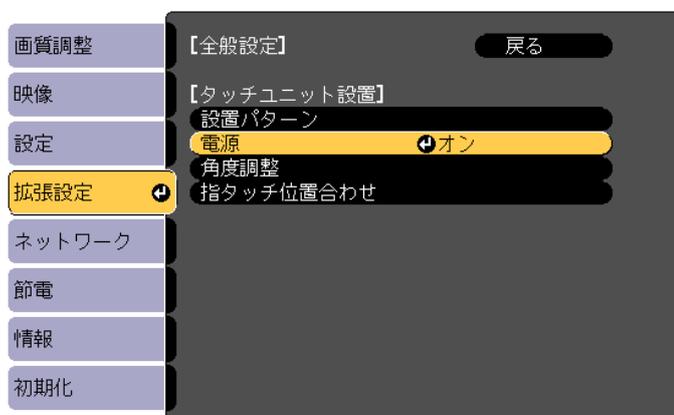
プロジェクターの環境設定メニューで、[拡張設定] から [Easy Interactive Function] を選択する



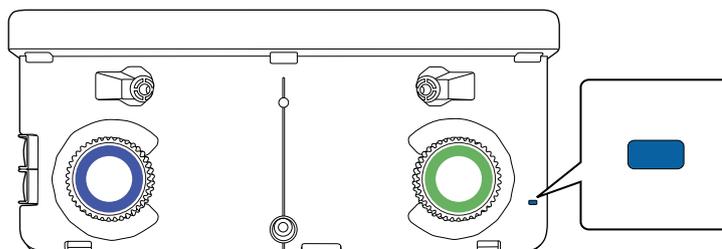
2 [タッチユニット設置] を選択する



3 [電源] を [オン] にする



タッチユニットの電源がオンになり、インジケータが青色に点灯します。



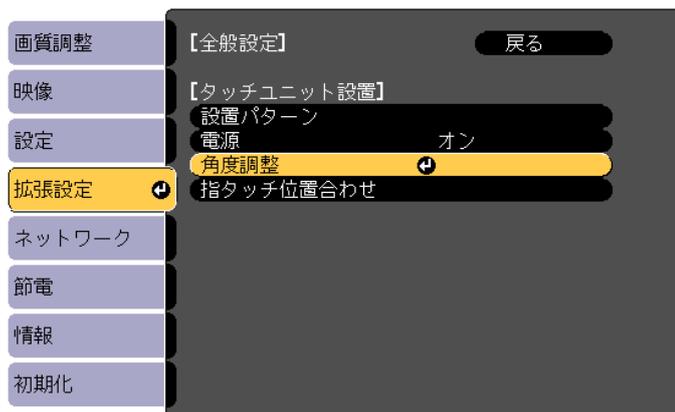
警告

プロジェクターの投写窓やタッチユニットのレーザー照射口を絶対にのぞかないでください。強いレーザー光で目を痛めるなどの原因となります。

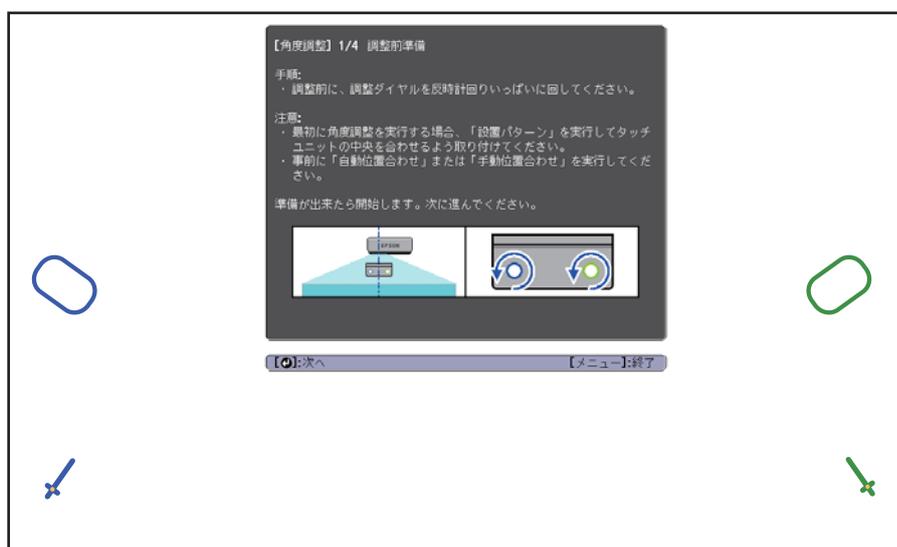


[電源] を [オン] に設定すると、次回からプロジェクターの電源をオンにしたときにタッチユニットの電源も自動的にオンになります。

4 【角度調整】を選択する

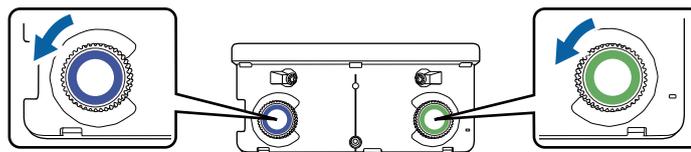


以下の画面が表示されます。

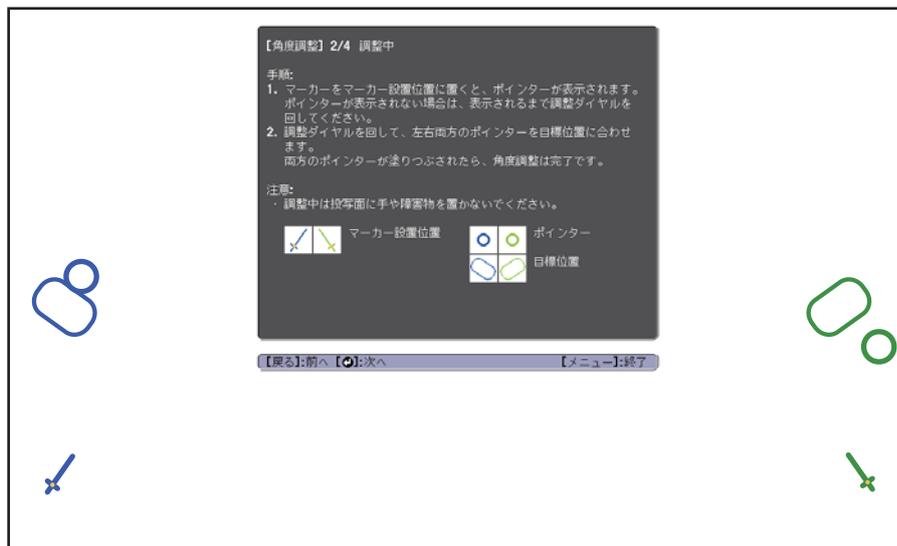


5

タッチユニットの調整ダイヤルを、カチカチと音が鳴るまで反時計回りに回す

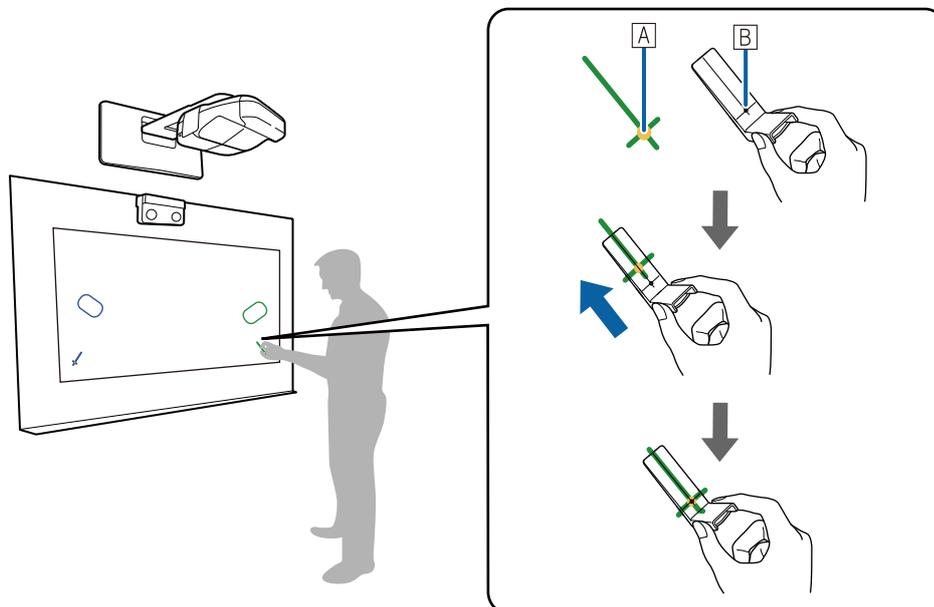


調整ダイヤルからカチカチと音が鳴ったら回すのをやめ、リモコンの【←】ボタンを押します。以下の画面が表示されます。



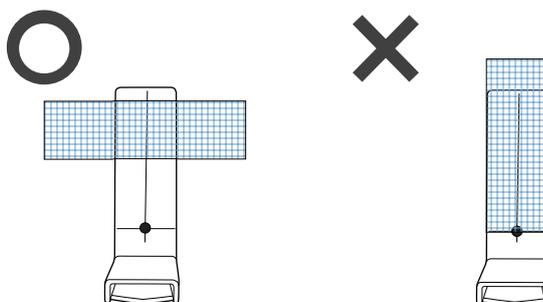
6 投写画面のマーカ―設置位置 () () に、タッチユニットから取り外したマーカ―2個を重ねて固定する

() () の交点 () に、マーカ―の十字位置 () が重なるように位置を合わせます。



投写画面の左右に、マーカ―設置位置と同じ色のポインタ― () () が表示されたら、マーカ―を投写画面に固定します。

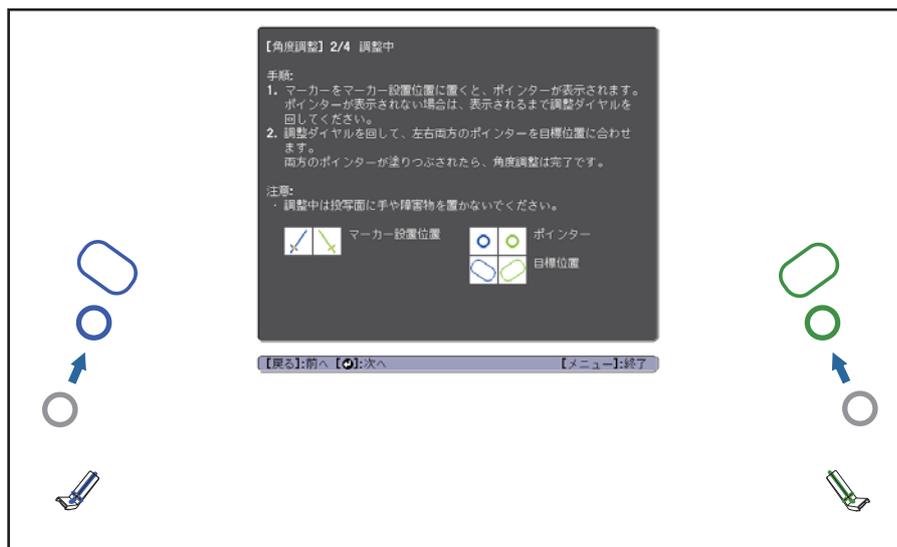
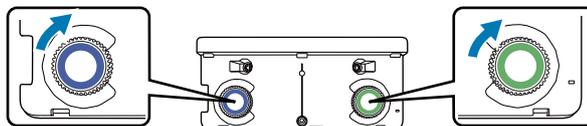
- マグネットが使えるスクリーン：マーカ―の底面をスクリーンに付けて固定します。
- マグネットが使えないスクリーン：同梱のテープで固定します。マーカ―の先端がスクリーンから浮かないように固定してください。



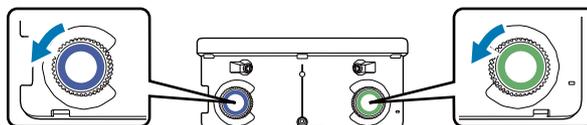
 角度調整中は、マーカ―以外のものを投写画面上に近付けないでください。投写画面上にマーカ―以外のものがあると、角度調整がうまくできないことがあります。

7 タッチユニットの調整ダイヤルを回して、左右のポインター（○）（○）が同じ色の目標位置（○）（○）に重なるように動かす

調整ダイヤルを時計回りに回すと、ポインターが投写画面の中心へ向かって斜め上方向に移動します。



調整ダイヤルを反時計回りに回すと、ポインターが投写画面の外側へ向かって斜め下方向に移動します。

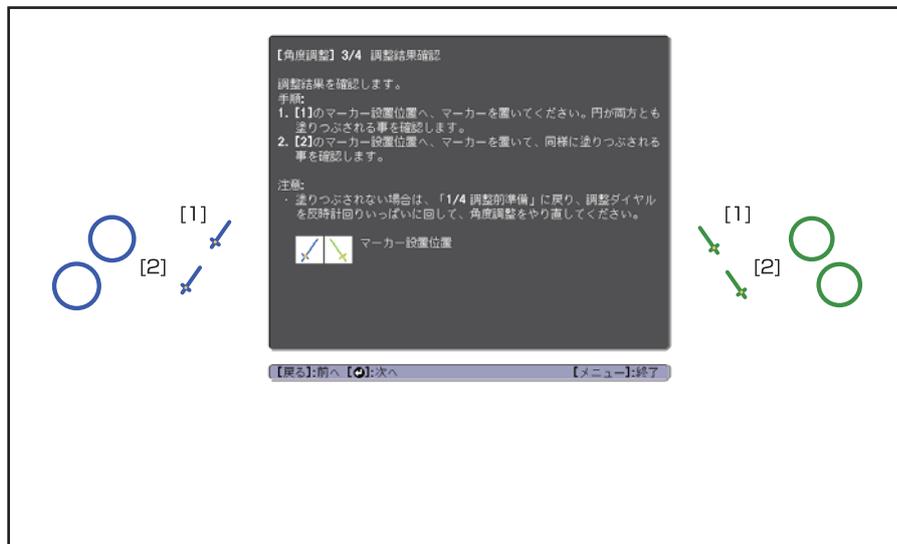


正しい位置に重なると、ポインターが塗りつぶし状態（●）（●）になります。

- ダイアルからカチカチと音が鳴ったら、ポインターはそれ以上移動しません。
- ダイアルを回すときは、腕や体の影がマーカーに重ならないようにしてください。

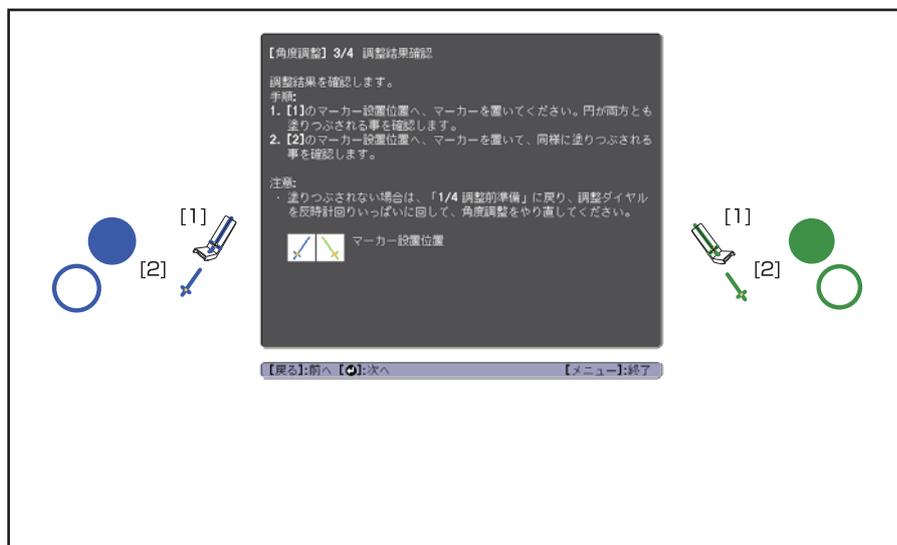
8 左右のポインターが塗りつぶし状態（●）（●）になったら、リモコンの【↶】ボタンを押す

以下の画面が表示されます。



9 上側のマーカ―設置位置【1】（✓）（✓）にマーカ―を置く

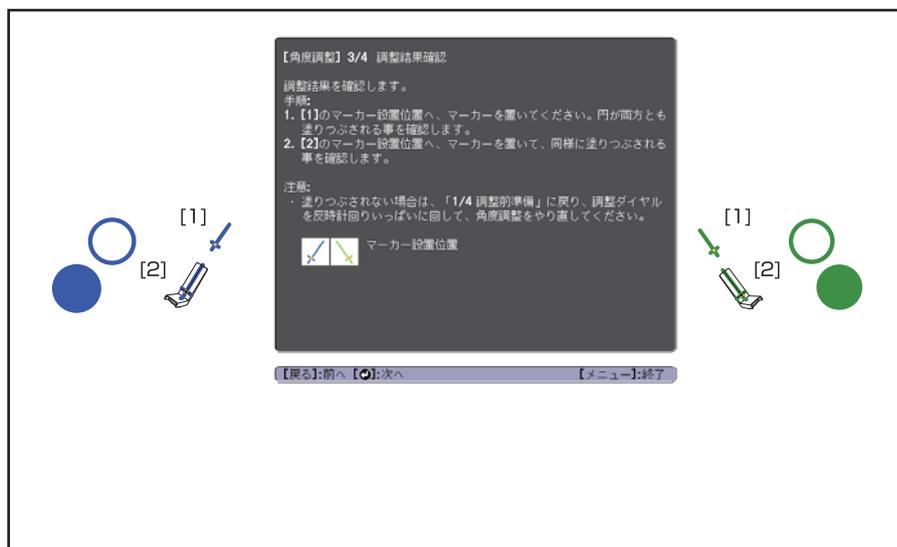
正しく角度調整が行われているときは、上側のポインターが塗りつぶし状態（●）（●）になります。



上側のポインターが塗りつぶし状態（●）（●）にならないときは、手順4からやり直してください。

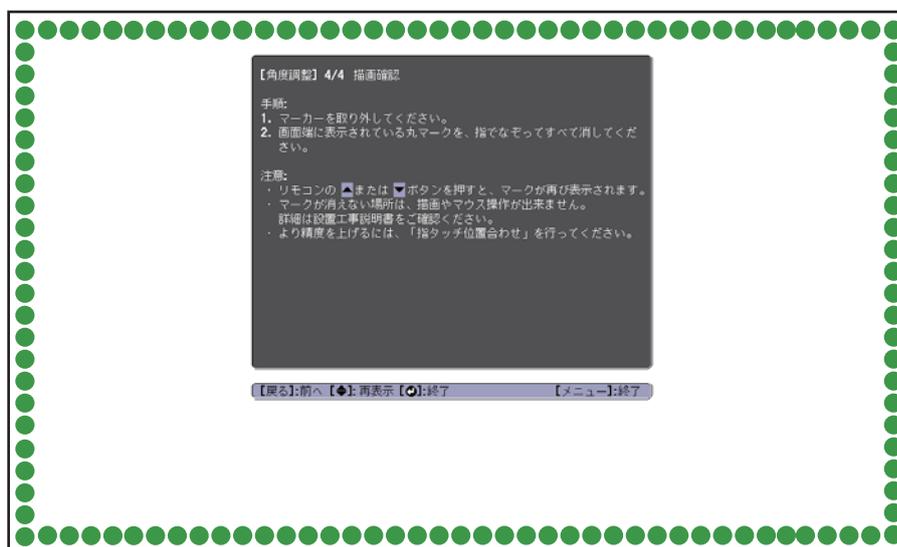
10 下側のマーカー設置位置[2] () () にマーカーを置く

正しく角度調整が行われているときは、下側のポインターが塗りつぶし状態 () () になります。



下側のポインターが塗りつぶし状態 () () にならないときは、手順4からやり直してください。

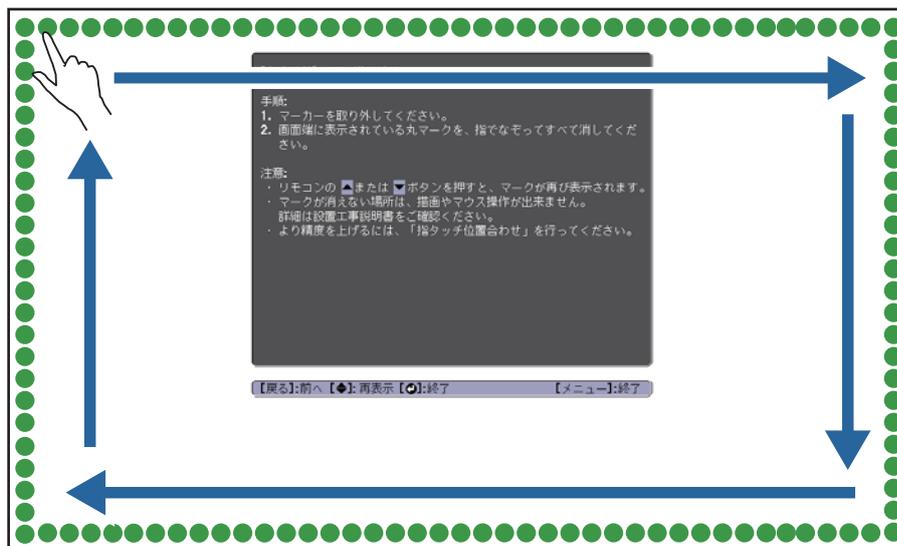
11 確認が終了したらマーカーを取り外し、リモコンの【←】ボタンを押す
以下の画面が表示されます。



12

指でドット（●）をなぞる

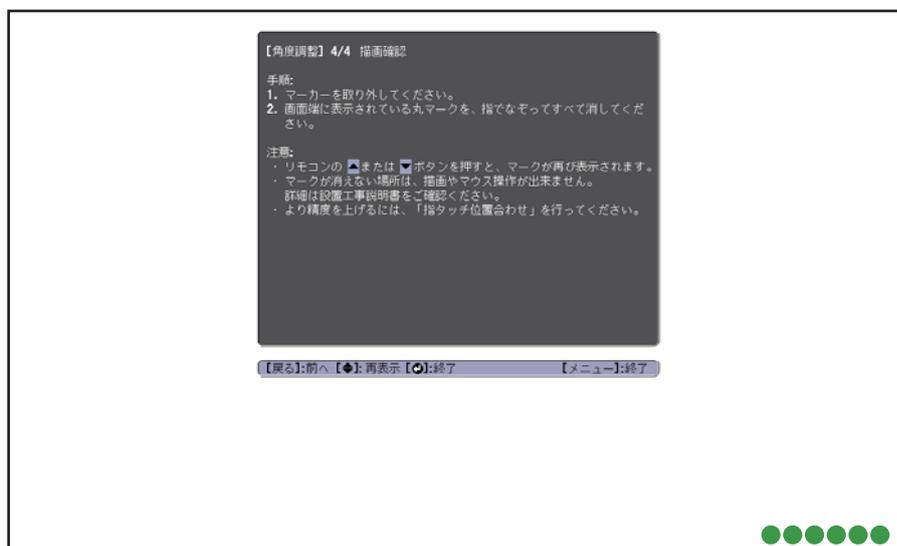
正しく角度調整が行われているときは、指でなぞったドットが消えていきます。



付け爪やマニキュア、包帯等をしている指で操作すると、正しく動作しないことがあります。

すべてのドットが消えたら、リモコンの【←】ボタンを押して、手順14へ進んでください。

下図のように一部のドットが消えないときは、以下の点を確認してください。

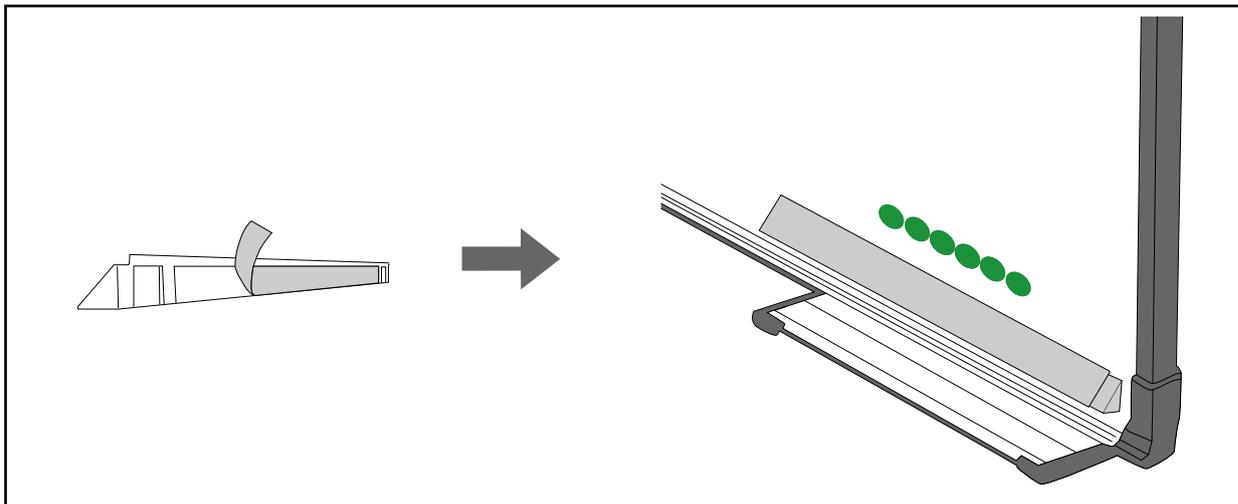


- ・ 投写画面の周りに障害物があるときは、障害物を取りのぞいてください。障害物を取りのぞいたら、リモコンの【←】または【→】ボタンを押して、手順12を再度行います。
- ・ 障害物を取り除いてもドットが消えないときは、調整ダイヤルをそれぞれ反時計回りに約1/4回します。そのあと、リモコンの【←】または【→】ボタンを押して手順12を再度行います。
- ・ 上記を行ってもドットが消えないときや、ホワイトボードのトレイやフレームなど、移動できない障害物があるときは、手順13へ進んでください。

13 障害物にレーザー光が反射しないように、同梱の赤外線ディフレクターをスクリーンに貼り付ける（投写画面の周りに、移動できない障害物があるときのみ）

貼り付け位置はドットと障害物の間になるようにします。ドットの数に合わせて、貼り付ける赤外線ディフレクターの本数を調整してください。

赤外線ディフレクターの裏面にあるシール台紙をはがして、スクリーンに貼り付けてください。



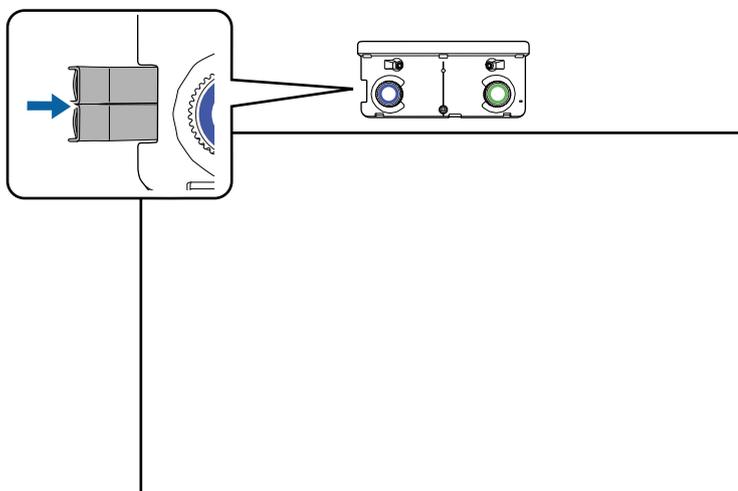
- 一度貼り付けた赤外線ディフレクターは取り外さないでください。テープの粘着力が弱くなります。
- 赤外線ディフレクターの上にテープを貼ったり、物を置いたりしないでください。赤外線ディフレクターが正しく機能しません。

赤外線ディフレクターを貼り付けたら、リモコンの【】または【】ボタンを押して、手順12を再度行います。

赤外線ディフレクターを取り付けてもドットが消えないときは、調整ダイヤルをそれぞれ反時計回りに約1/4回します。そのあと、リモコンの【】または【】ボタンを押して手順12を再度行います。

上記を行ってもドットが消えないときは、『お問い合わせ先』（Document CD-ROM内）に記載の連絡先にご相談ください。

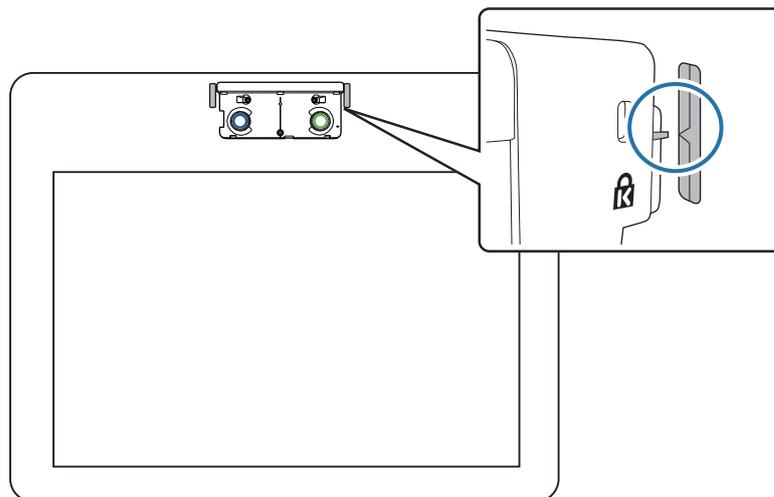
14 マーカーをタッチユニットに収納する



15

タッチユニットの両側のツメに合わせて、目印ラベルを貼る

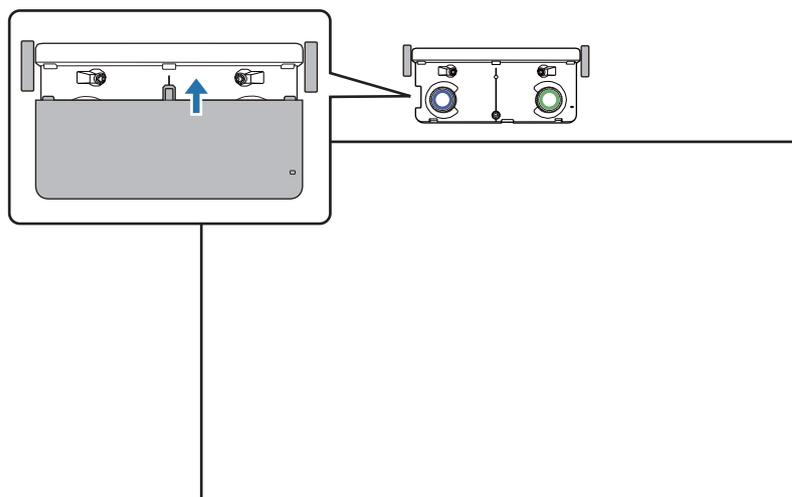
タッチユニットのツメと、目印ラベルの中心を合わせてください。



使用中にタッチユニットの位置がずれてしまったときは、目印ラベルに合わせてタッチユニットを取り付け直してください。

16

ダイヤルカバーを取り付けて、ダイヤルカバー下部のネジを締めて固定する



指タッチ位置合わせ

プロジェクターが指の位置をより正確に認識できるよう、指タッチ位置合わせを行います。

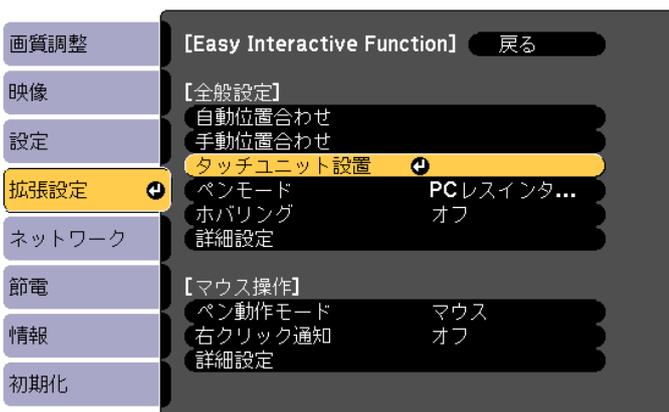
1 プロジェクターの【メニュー】ボタンを押す



2 【拡張設定】で【Easy Interactive Function】を選択する



3 【タッチユニット設置】を選択する

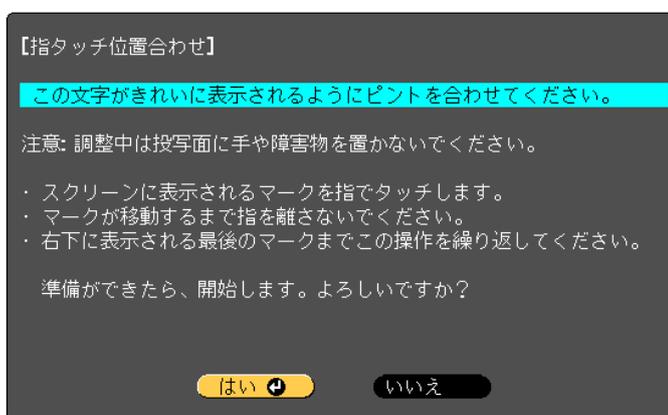


4 [指タッチ位置合わせ] を選択する



ピント調整のメッセージが表示されます。

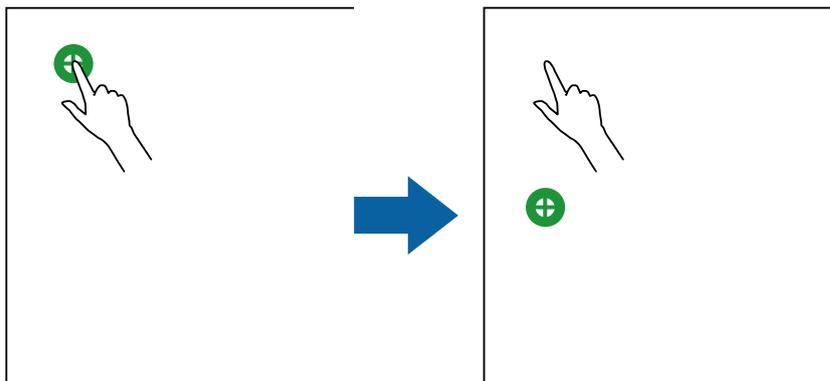
5 ピントが合っていることを確認して、[はい] を選択する



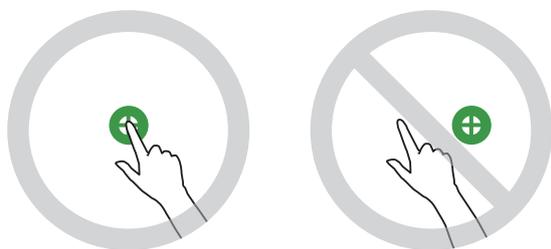
投写画面の左上にドットが表示されます。

6 表示されているドットを中心に指で押す

ドットが消えて次の位置にドットが表示されたら、指を離します。

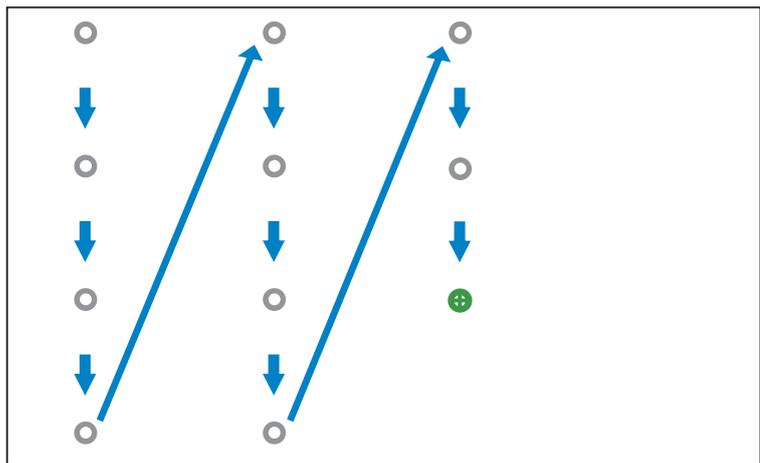


• 必ずドットを中心に押してください。中心以外を押すと位置ずれの原因となります。



• 手の甲など指以外の箇所が触れないようにしてください。

7 すべてのドットが消えるまで、手順6を繰り返す



すべてのドットが消えると、指タッチ位置合わせが完了します。



- 押す位置を間違えたときは、リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押してください。1つ前のドットからやり直せます。2つ以上前のドットからやり直すことはできません。
- 指タッチ位置合わせを中止するときは、【戻る】ボタンを2秒間押します。
- すべてのドットが消えてから指タッチ位置合わせが完了するまで、数秒かかることがあります。

一括設定機能

1台のプロジェクターで設定した環境設定メニューの内容を、他の複数のプロジェクターに一括で設定できます（一括設定機能）。一括設定機能は同じ型番のプロジェクター間でのみ使用できます。

以下のいずれかの方法で設定します。

- USBメモリーを使って設定する。
- EasyMP Network Updaterを経由して設定する。

本書では、USBメモリーを使う方法を説明します。



- 以下の内容は一括設定機能では反映されません。
 - ネットワークメニューの設定（メールメニュー、その他メニューを除く）
 - 情報メニューのランプ点灯時間、ステータス
- 投写画面の調整を行う前に一括設定を行ってください。一括設定機能では、台形補正などの投写画面の調整値も反映されます。投写画面の調整後に一括設定を行うと、調整した投写画面が変わってしまうことがあります。
- 一括設定機能を使うと、登録してあるユーザーロゴも他のプロジェクターに反映されます。機密情報などをユーザーロゴとして登録しないでください。



注意

一括設定は、お客様の責任において行ってください。停電や通信異常などが原因で一括設定に失敗したときは、修理費用が有償となることがあります。

設定値をUSBメモリーに保存する



- FAT形式でフォーマットしたUSBメモリーを使用してください。
- セキュリティー機能が付いているUSBメモリーでは、一括設定機能が利用できません。セキュリティー機能の付いていないUSBメモリーをお使いください。
- USBカードリーダーやUSBハードディスクでは、一括設定機能は利用できません。

- 1 プロジェクターから電源コードを抜いて、プロジェクターのインジケーターがすべて消灯していることを確認する

2

USBメモリーをプロジェクターのUSB-A端子に接続する



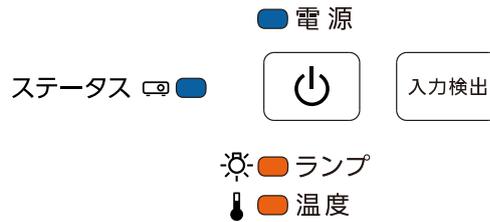
- 端子にはUSBメモリーを接続しないでください。
- USBメモリーは、プロジェクターに直接接続してください。USBハブを介してUSBメモリーを接続すると、設定値の保存が正常に行われなかったことがあります。
- 空のUSBメモリーを接続してください。一括設定ファイル以外のデータが入っていると、設定値が正しく保存できないことがあります。
- USBメモリー内に他のプロジェクターの一括設定ファイルを保存しているときは、ファイルを削除するかファイル名を変更してください。一括設定機能では、一括設定ファイルの上書きはできません。
- 一括設定したファイルのファイル名はPJCONFDATA.binです。ファイル名を変更するときはPJCONFDATAの後ろに任意の文字列を追加してください。他のファイル名に変更すると、プロジェクターが正しく認識できないことがあります。
- 2バイト以上の文字は、ファイル名に使えません。

3

リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押したまま、プロジェクターに電源コードを接続する

ステータスインジケータと電源インジケータが青色に、ランプインジケータと温度インジケータが橙色に、それぞれ点灯します。

プロジェクターのインジケータがすべて点灯したら、【戻る】ボタンを離してください。



すべてのインジケータが点滅になると、一括設定ファイルの書き込みが始まります。

注意

- ファイルの書き込み中は、プロジェクターから電源コードを抜かないでください。電源コードを抜くと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。
- ファイルの書き込み中は、プロジェクターからUSBメモリーを抜かないでください。USBメモリーを抜くと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。

書き込みが正常に終了すると、プロジェクターの電源がオフになり、電源インジケータのみが青色に点灯します。



プロジェクターの電源がオフになったら、USBメモリーを抜きます。

保存した設定値を他のプロジェクターに反映する

1 プロジェクターから電源コードを抜いて、プロジェクターのインジケータがすべて消灯していることを確認する

2 一括設定ファイルを保存したUSBメモリーを、プロジェクターのUSB-A端子に接続する

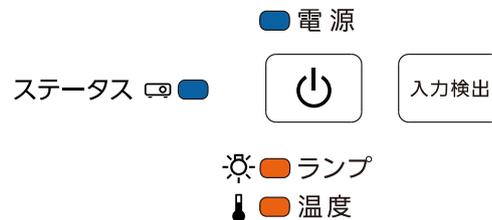


- 端子にはUSBメモリーを接続しないでください。
- USBメモリー内に一括設定ファイルが1～3種類あるとき、同じ型番のプロジェクターのファイルを反映します。同じ型番のプロジェクターのファイルが2つ以上あるときは、設定値が正常に反映できないことがあります。
- USBメモリー内に4種類以上の一括設定ファイルがあるとき、設定値が正常に反映できないことがあります。
- USBメモリーには一括設定ファイル以外のデータを入れないでください。一括設定ファイル以外のデータが入っていると、設定値が正しく反映できないことがあります。

3 リモコンまたは操作パネルの【メニュー】ボタンを押したまま、プロジェクターに電源コードを接続する

ステータスインジケータと電源インジケータが青色に、ランプインジケータと温度インジケータが橙色に、それぞれ点灯します。

プロジェクターのインジケータがすべて点灯したら、【メニュー】ボタンを離してください。インジケータは約75秒点灯します。



すべてのインジケータが点滅になると、設定値の書き込みが始まります。

注意

- 設定値の書き込み中は、プロジェクターから電源コードを抜かないでください。電源コードを抜くと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。
- 設定値の書き込み中は、プロジェクターからUSBメモリーを抜かないでください。USBメモリーを抜くと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。

書き込みが正常に終了すると、プロジェクターの電源がオフになり、電源インジケータのみが青色に点灯します。



プロジェクターの電源がオフになったら、USBメモリーを抜きます。

設定がうまくいかないときは

確認	対処法
<p>ランプインジケータと温度インジケータが、橙色に速く点滅していませんか？</p> <p style="text-align: center;">○ 電源</p> <p>ステータス  ○  入力検出</p> <p style="text-align: center;">  ランプ   温度</p>	<p>一括設定ファイルに異常があるか、USBメモリーが正しく接続できていない可能性があります。USBメモリーを取り外し、プロジェクターの電源コードを抜いて差し直してから、もう一度お試しください。</p>
<p>電源インジケータとステータスインジケータが青色に、ランプインジケータと温度インジケータが橙色に、それぞれ速く点滅していませんか？</p> <p style="text-align: center;"> 電源</p> <p>ステータス    入力検出</p> <p style="text-align: center;">  ランプ   温度</p>	<p>設定値の書き込みに失敗して、プロジェクターのファームウェアに異常が生じた可能性があります。ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。</p>

■ 本機を複数台設置してインタラクティブ機能をお使いの場合

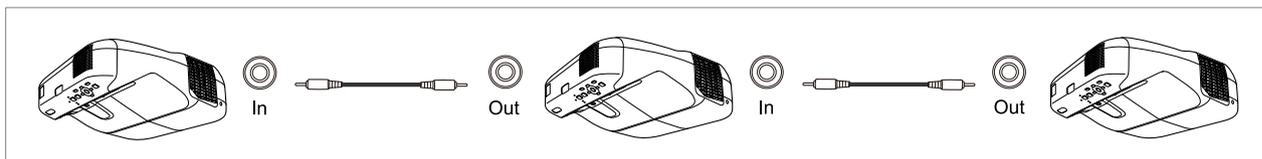
本機を同じ部屋に2台以上設置するときは、赤外線干渉によりEasy Interactive Penの動作が不安定になることがあります。Easy Interactive Penの動作を安定させるために、プロジェクター同士をケーブルで接続します。

オプションのワイヤードリモコンケーブル (ELPKC28) で、本機のSYNC端子同士を直列に接続します。接続した後は、環境設定メニューの [拡張設定] - [Easy Interactive Function] - [詳細設定] - [複数台同期] を [有線接続] に設定します。

詳細は、プロジェクターの『取扱説明書』(Document CD-ROM内) をご覧ください。



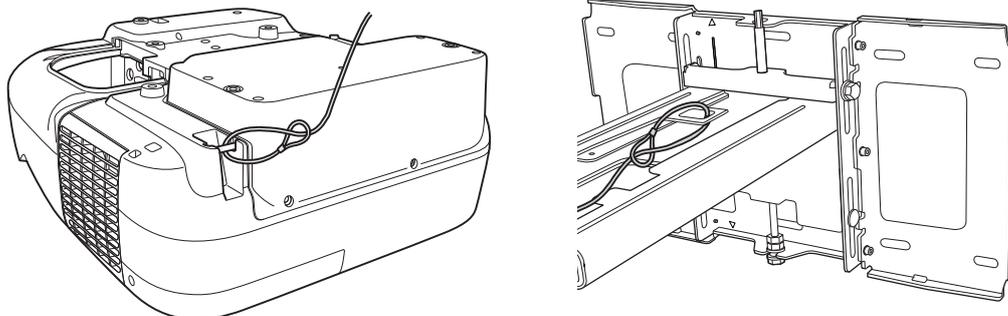
- SYNC端子には、INとOUTの2種類があります。ケーブルの一方の端子をINに接続したときは、もう一方の端子をOUTに接続してください。
- 3台以上のプロジェクターを接続するとき、1台目のプロジェクターと最後のプロジェクターを接続する必要はありません。



■ セキュリティーケーブルの取り付け

本製品には、市販の盗難防止用ワイヤーロックを取り付けられます。

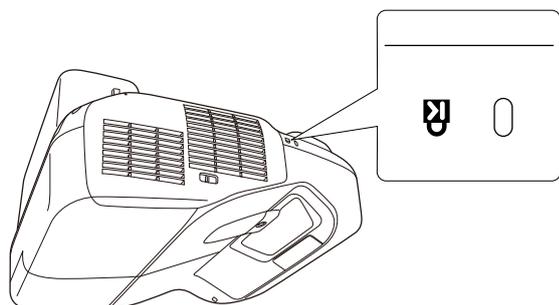
盗難防止用ワイヤーロックのワイヤーをプロジェクターとセッティングプレートのセキュリティーケーブル取り付け部に通します。ワイヤーロックの施錠方法は、ワイヤーロックに添付の取扱説明書をご覧ください。



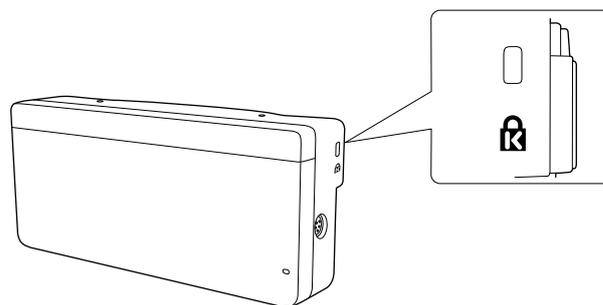
本製品は、Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティーシステムに対応したセキュリティー slots を搭載しています。マイクロサーバーセキュリティーシステムについての詳細は、以下をご覧ください。

<http://www.kensington.com/>

プロジェクター



タッチユニット (EB-1430WTのみ)



商標について

OS Xは、Apple Inc.の商標です。

Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における商標または登録商標です。

©SEIKO EPSON CORPORATION 2014. All rights reserved.